

令和2年 7 月 28日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 国 語

代表者 郷 原 中学校

氏名 松 田 百 合

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元・教材の目標の示し方
方 法	○目標の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【「少年の日の思い出」における目標の示し方】</p> <p>単元の扉に、単元の目標「6 作品を読み解く」を単元名として示している。</p> <p>○ 「人物や情景の描写に注意して作品を読み深めるには、どんなことを意識したらいいんだろう。」と、教材の初めに問いかけの形で記載している。</p> <p>○ 「さまざまな場面での人物や情景の描写に着目して、作品を読み深める。」 「作品の構成の工夫や表現の効果について考える。」と、教材の終わりのてびきに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりの「言葉の力」に「伏線に着目する」と、学習のポイントを示している。</p>
	<p>第2学年</p> <p>【「走れメロス」における目標の示し方】</p> <p>○ 単元の扉に、単元の目標「6 描写を味わう」を単元名として示している。</p> <p>○ 「人物像を捉えて作品を読み深めるには、どんなところに気をつけたらいいんだろう。」と、教材の初めに問いかけの形で記載している。</p> <p>○ 「人物像を捉え、人物の言動について考えながら、作品を読み深める。」 「場面の展開や表現の効果について考える。」と、教材の終わりのてびきに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりの「言葉の力」に「人物像に着目する」と、学習のポイントを示している。</p>
	<p>第3学年</p> <p>【「故郷」における目標の示し方】</p> <p>○ 単元の扉に、単元の目標「6 関係を読む」を単元名として示している。</p> <p>○ 「人物の思いについて考えながら作品を読み深めるには、どんなところに気をつけたらいいんだろう。」と、教材の初めに問いかけの形で記載している。</p> <p>○ 「登場人物の思いについて考えながら、作品を読み深める。」 「作品を読んで考えを深め、社会の中で生きる人間について、自分の意見を持つ。」と、教材の終わりのてびきに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりの「言葉の力」に「人間関係の変化に着目する」と、学習のポイントを示している。</p>
	<p>☆ 教材の初めに問いかけの形で、終わりに目標や学習課題を提示している。</p> <p>☆ 学習のポイントを示すコラムを設けている。</p>
三省堂	<p>第1学年</p> <p>【「少年の日の思い出」における目標の示し方】</p>

三省堂	<p>○ 単元の扉に、単元の目標「9 振り返って見つめる」を単元名として示している。</p> <p>○ 「登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。」 「過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。」と、教材の初めと終わりに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりの「学びの道しるべ」に「思考の方法」として「仮定する」、「語彙を豊かに」として「断りを表す表現」、「読み方を学ぼう8」として「語り手・視点」を記載し、語彙力、思考力・判断力・表現力を伸ばすための方法を示している。</p> <p>第2学年</p> <p>【「走れメロス」における目標の示し方】</p> <p>○ 単元の扉に、単元の目標「9 振り返って見つめる」を単元名として示している。</p> <p>○ 「人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。」 「工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。」と、教材の初めと終わりに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりの「学びの道しるべ」に「思考の方法」として「抽象化する」、「語彙を豊かに」として「さまざまな笑いの表現」、「読み方を学ぼう8」として「心内語」と記載し、語彙力、思考力・判断力・表現力を伸ばすための方法を示している。</p> <p>第3学年</p> <p>【「故郷」における目標の示し方】</p> <p>○ 単元の扉に、単元の目標「7 読みを深め合う」を単元名として示している。</p> <p>○ 「登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。」 「人物の心情と描写との関連や人物設定など、表現の特徴や工夫を捉え、評価する。」と、教材の初めと終わりに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりの「学びの道しるべ」に「思考の方法」として「比較する」、「語彙を豊かに」として「『故』を含んだ言葉」、「読み方を学ぼう6」として「反復」と記載し、語彙力、思考力・判断力・表現力を伸ばすための方法を示している。</p> <p>☆ 教材の初めに目標を示し、教材の終わりには目標や学習課題を提示している。</p> <p>☆ 文章の読み方や思考方法、語彙に関するコラムを設けている。</p>
	<p>第1学年</p> <p>【「少年の日の思い出」における目標の示し方】</p> <p>○ 単元の扉に課題を考えるためのキーワード「自己／他者／物語」と、単元名「九 『そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。』」を示している。</p>
教出	<p>○ 単元の扉の終わりに、学びの振り返りとして「『言葉の地図』へ」と記載し、教科書の最初に明示している「1年生で学ぶ内容と身につけたい言葉の力」を見るよう促している。</p> <p>○ 教材前の「学びナビ」では「語り方にご注意！」と示し、「学びに向かうかま</p>

教出	<p>え」を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。」 「場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。」 「語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。」と、教材の初めに目標を記載している。 <p>第2学年</p> <p>【「走れメロス」における目標の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の扉に課題を考えるためのキーワード「自己／他者／物語」と、単元名「九 訳のわからぬ大きな力」を示している。 ○ 単元の扉の終わりに、学びの振り返りとして『言葉の地図』へ」と記載し、教科書の最初に明示している「2年生で学ぶ内容と身につけたい言葉の力」を見るよう促している。 ○ 教材前の「学びナビ」では「変化する語り」と示し、「学びに向かうかまえ」を記載している。 ○ 「抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。」 「人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。」 「登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。」と、教材の初めに目標を記載している。 <p>第3学年</p> <p>【「故郷」における目標の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の扉に課題を考えるためのキーワード「自己／他者／物語」と単元名「六 地上の道のようなもの」を示している。 ○ 単元の扉の終わりに、学びの振り返りとして『言葉の地図』へ」と記載し、教科書の最初に明示している「3年生で学ぶ内容と身につけたい言葉の力」を見るよう促している。 ○ 教材前の「学びナビ」では『私』が語る〈私〉」と示し、「学びに向かうかまえ」を記載している。 ○ 「理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。」 「一人称や語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。」 『希望』について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。」と、教材の初めに目標を記載している。 <p>☆ 単元の扉にキーワードを示している。</p> <p>☆ 単元名を教材文から抽出している。</p> <p>☆ 教材の初めに目標を示し、教材の終わりに学習課題を提示している。</p>
光村	<p>第1学年</p> <p>【「少年の日の思い出」における目標の示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の扉に、単元名「8 自分を見つめる」と単元の目標「作品や生活と向き合い、ものの見方を深める」とを示している。

光村	<p>○ 「文章の中での語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。」 「場面の展開や表現の効果、語り手に着目して、作品を読み深める。」と、教材の初めと終わりに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりに「学習の窓」として「語り手に着目する」と示し、学習を通して身につける力のポイントを示している。</p> <p>第2学年</p> <p>【「走れメロス」における目標の示し方】</p> <p>○ 単元の扉に、単元名「8 表現を見つめる」と単元の目標「多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める」を示している。</p> <p>○ 「抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。」 「登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。」と、教材の初めと終わりに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりに「学習の窓」として「人物像に着目する」と示し、学習を通して身につける力のポイントを示している。</p> <p>第3学年</p> <p>【「故郷」における目標の示し方】</p> <p>○ 単元の扉に、単元名「4 状況の中で」と単元の目標「多様な状況の中で生きる人の姿に思いをはせ、考えを深める」を示している。</p> <p>○ 「人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。」 「小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。」と、教材の初めと終わりに目標を記載している。</p> <p>○ 教材の終わりに「学習の窓」として「小説を批評する」と示し、学習を通して身につける力のポイントを示している。</p> <p>☆ 単元の扉に単元名と単元の目標を記載している。</p> <p>☆ 教材の初めと終わりに言語活動と目標を示している。</p> <p>☆ 教材の終わりには目標や学習を通して身につける力のポイントを示すコラムを設けている。</p>
----	--

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②言葉の特徴や使い方に関する事項
方 法	○新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 371字 ○ 脚注に行数, 音訓を示している。 ○ 脚注のない教材については, 教材末にページ数, 行数, 音訓を示している。 ○ 巻末に「新出漢字」として, ページ数, 部首, 画数, 筆順, 各音訓についての用例を示している。 <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> 意 意味を調べよう (70) 文 短文を作ろう (29) 類 似た意味の語句 (類義語) を挙げよう (51) 対 反対の意味の語句 (対義語) を挙げよう (8) <p>【言語 (ページ数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語探検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声の働きや仕組み (1) ・ 接続する語句・指示する語句 (3) ・ 方言と共通語 (2) ・ 語の意味と文脈・多義語 (2) ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉を広げよう (4) ・ 学習用語一覧 (1) <p>【漢字 (ページ数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字道場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活字と書き文字・画数・筆順 (2) ・ 音読み・訓読み (2) ・ 漢字の部首 (2) ・ 他教科で学ぶ漢字 (1) ・ 漢字の成り立ち (2) ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出漢字一覧 (12) ・ 新出音訓一覧 (1)

東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字表（１２） <p>【文法（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法とは・言葉の単位（１） ・ 文の成分・連文節（１） ・ 単語の分類（１） ・ 名詞（１） ・ 連体詞・副詞・接続詞・感動詞（１） ○ 基礎編 <p>文法解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法とは・言葉の単位（３） ・ 文の成分・連文節（５） ・ 単語の分類（４） ・ 名詞（２） ・ 連体詞・副詞・接続詞・感動詞（３） <p>第２学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ３７０字 ○ 脚注に行数，音訓を示している。 ○ 脚注のない教材については，教材末にページ数，行数，音訓を示している。 ○ 巻末に「新出漢字」として，ページ数，部首，画数，筆順，各音訓についての用例を示している。 <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> 【意】 意味を調べよう（５７） 【文】 短文を作ろう（３２） 【類】 似た意味の語句（類義語）を挙げよう（３７） 【対】 反対の意味の語句（対義語）を挙げよう（９） <p>【言語（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語探検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し言葉と書き言葉（２） ・ 敬語（２） ・ 類義語・対義語（２）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・ 敬語のまとめ（１） ・ 言葉を広げよう（４） ・ 学習用語一覧（１）

東書	<p>【漢字（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字道場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 形の似た漢字（１） ・ 他教科で学ぶ漢字(1)（１） ・ 漢字の意味（１） ・ 同訓異字（２） ・ 他教科で学ぶ漢字(2)（１） ・ 同音異義語（２） ○ 小学校六年の漢字〈学習〉（３） ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出漢字一覧（１２） ・ 新出音訓一覧（１） ・ 常用漢字表（１２） <p>【文法（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 用言の活用（１） ・ 助詞（１） ・ 助動詞（１） ○ 基礎編 <p>文法解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年の復習（２） ・ 用言の活用（４） ・ 助詞（２） ・ 助動詞（４） ・ 用言活用表（１） ・ 助詞一覧表（１） ・ 助動詞活用表（１） <p>第３学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ２７６字 ○ 脚注に行数，音訓を示している。 ○ 脚注のない教材については，教材末にページ数，行数，音訓を示している。 ○ 巻末に「新出漢字」として，ページ数，部首，画数，筆順，各音訓についての
	<p>用例を示している。</p> <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 <p>意 意味を調べよう（４１）</p>

東書	<div data-bbox="395 181 1024 315"> <div>文</div> 短文を作ろう (28)</div> <div>類</div> 似た意味の語句 (類義語) を挙げよう (29)
----	---

対

【言語 (ページ数)】

○ 日本語探検

- 和語・漢語・外来語 (2)
- 間違いやすい敬語 (2)
- 連語・慣用句 (2)
- 言葉の移り変わり (2)

○ 資料編

- 敬語のまとめ (2)
- 言葉を広げよう (5)
- 学習用語一覧 (1)

【漢字 (ページ数)】

○ 漢字道場

- 他教科で学ぶ漢字 (1) (1)
- 熟語の構成・熟字訓 (3)
- 四字熟語 (2)
- 送り仮名 (1)
- 他教科で学ぶ漢字 (2) (1)
- 紛らわしい漢字 (1)
- 間違いやすい言葉 (1)

○ 資料編

- 新出漢字一覧 (9)
- 本文で学ばなかった漢字 (3)
- 新出音訓一覧 (3)
- 常用漢字表 (12)

【文法 (ページ数)】

○ 文法の窓

- 曖昧な文・分かりづらい文 (2)
- 文法のまとめ (1)

○ 基礎編

文法解説

- 一～二年の復習 (2)

東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 助動詞活用表（１） <p>☆ 新出漢字の読みは、本文にルビを、脚注にはその漢字の他の音読みや訓読みを紹介している。</p> <p>☆ 「言葉を広げよう」で、その言葉を使った文例を示している。</p> <p>☆ 文法の学習の付属語は第２学年に掲載している。</p>
三省堂	<p>第１学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ４２７字 ○ 脚注に行数、本文中の読みを示している。 ○ 教材末にページ数、音訓、用例を示している。 ○ 巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」として、ページ数、音訓、中学では学ばなくてもよい音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 ○ 意 辞書で意味を調べる（１３７） ○ 類 類義語（５１） ○ 対 対義語（１３） <p>【言語（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉発見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声のしくみとはたらき（４） ・ 話し言葉と書き言葉（２） ・ 接続する語句・指示する語句（２） ・ 比喩・倒置・反復・対句・体言止め（２） ・ 方言と共通語（３） ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習用語辞典（６） ・ 語彙の広がり（４） <p>【漢字（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字のしくみ <ul style="list-style-type: none"> ・ 活字と手書き文字・画数・筆順（２） ・ 部首と成り立ち（３） ・ 漢字の音と訓（２）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を身につけよう（９） ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年生で学ぶ漢字字典（１８） ・ 一年生で学ぶ音訓（１）

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校六年生で学習した漢字（１） ・ 常用漢字表音訓一覧（１３） ・ 常用漢字表付表（１） <p>【文法（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の単位・文節の関係（１） ・ 単語の類別・品詞（１） ○ 文法のまとめ〔１年生〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の単位（１） ・ 文節の関係・連文節・文の成分（４） ・ 単語の類別・品詞（２） ・ 名詞（２） ・ 副詞・連体詞・接続詞・感動詞（３） <p>第２学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ３５４字 ○ 脚注に行数，本文中の読みを示している。 ○ 教材末にページ数，音訓，用例を示している。 ○ 巻末に「二年生で学ぶ漢字字典」として，ページ数，音訓，中学では学ばなくてもよい音訓，部首，画数，筆順，用例を示している。 <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ① 辞書で意味を調べる（１４１） 類 類義語（６５） 対 対義語（９） <p>【言語（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉発見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 敬語の意味と種類（３） ・ 言葉のはたらきとコミュニケーション（１） ・ 上位語・下位語（１） ・ 類義語・対義語，多義語（２） ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習用語辞典（６） ・ 語彙の広がり（４） <p>【漢字（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字のしくみ <ul style="list-style-type: none"> ・ 熟語の構成・熟字訓（２）
-----	--

- ・ 熟語の読み (1)
- 漢字を身につけよう (9)
- 参考資料
 - ・ 二年生で学ぶ漢字字典 (14)
 - ・ 二年生で学ぶ音訓 (1)
 - ・ 小学校六年生で学習した漢字 (1)
 - ・ 常用漢字表音訓一覧 (13)
 - ・ 常用漢字表付表 (1)

【文法 (ページ数)】

- 文法の窓
 - ・ 用言の活用 (1)
 - ・ 助詞・助動詞のはたらき (1)
- 文法のまとめ [2年生]
 - ・ 用言の活用 (4)
 - ・ 助詞・助動詞のはたらき (4)
 - ・ 文の成分の順序と照応 (1)
 - ・ 文の種類 (1)
 - ・ 確認しよう (2)
 - ・ 品詞分類表・形容詞・形容動詞活用表 (1)
 - ・ 動詞活用表 (1)
 - ・ 助動詞活用表 (2)

第3学年

【新出漢字の数および脚注等への示し方】

- 298字 (+本文中で扱わなかった漢字 329字)
- 脚注に行数, 本文中の読みを示している。
- 教材末にページ数, 音訓, 用例を示している。
- 巻末に「三年生で学ぶ漢字辞典」として, ページ数, 音訓, 中学では学ばなくてもよい音訓, 部首, 画数, 筆順, 用例を示している。

【重要語句の脚注への示し方とその数】

- 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。
 - ① 辞書で意味を調べる (112)
 - 類 類義語 (49)
 - 対 対義語 (8)

【言語 (ページ数)】

- 言葉発見
 - ・ 辞書の語釈 (1)
 - ・ 和語・漢語・外来語 (2)

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慣用句・ことわざ・故事成語（３） ・ 言葉の現在・過去・未来（１） ・ 相手や場に配慮した言葉遣い（２） <p>○ 参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習用語辞典（６） ・ 語彙の広がり（４） <p>【漢字（ページ数）】</p> <p>○ 漢字のしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四字熟語（２） <p>○ 漢字を身につけよう（８）</p> <p>○ 参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三年生で学ぶ漢字字典（１４） ・ 三年生で学ぶ音訓（１） ・ 小学校六年生で学習した漢字（１） ・ 常用漢字表音訓一覧（１３） ・ 常用漢字表付表（１） <p>【文法（ページ数）】</p> <p>○ 文法の窓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現につながる文法（１） <p>○ 文法のまとめ〔３年生〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現につながる文法（４） ・ 確認しよう（２） <p>○ 三年間の文法の総まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉のまとまり，文節の関係・連文節・文の成分（１） ・ 単語の類別と品詞，名詞（１） ・ 動詞・形容詞・形容動詞（１） ・ 副詞・連体詞・接続詞・感動詞，助詞・助動詞（１） ・ 品詞分類表・形容詞・形容動詞活用表（１） ・ 動詞活用表（１） ・ 助動詞活用表（２） <p>☆ 新出漢字の読みは，脚注に本文から抜き出した単語の形で読みを示している。</p> <p>☆ 「学習用語辞典」では，言葉の意味を辞書のように丁寧に説明している。</p> <p>☆ 「重要語句の脚注への示し方」で意味を調べるは青，類義語はオレンジ，対義語は紫と色分けしている。</p>
	<p>☆ 文法の学習の付属語は第２学年に掲載している。</p>

教出	<p>第1学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 396字 ○ 新出漢字には、本文中のルビが振ってある。 ○ 新出漢字が出てくる行の下脚注に漢字のみを示している。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」としてページ数、音訓、用例を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 【意】 調べたり考えたりして意味を理解する。(51) 【文】 短文を作って表現に生かす。(32) 【同】 同じ音をもつ語句を調べる。(2) 【対】 反対や対比の意味をもつ語句を調べる。(3) 【類】 似た意味をもつ語句を調べる。(17) 【考】 考えるときの観点として生かす。(5) <p>【言語 (ページ数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語の音声 (1) ・ 日本語の文字 (1) ・ 方言と共通語 (1) ○ 言葉と文法 解説編 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語の音声 (4) ・ 日本語の文字 (4) ・ 方言と共通語 (4) ○ 言葉の自習室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習に必要な用語 (索引) (2) ・ 理解に役立つ言葉 (2) ・ 表現に役立つ言葉 (2) <p>【漢字 (ページ数)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の部首 (2) ・ 画数と活字の字体 (2) ・ 漢字の音と訓 (2) ・ 熟語の構成 (2) ○ 漢字の練習 (7) ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年生で学習した漢字 (10)
----	--

教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校六年生で学習した漢字（４） ・ 常用漢字表（附表）（１３） ・ 一年生で読みを学習した漢字・語（１） <p>【文法（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の単位（１） ・ 文の成分（１） ・ 単語のいろいろ（１） ○ 言葉と文法 解説編 <p>文法（解説）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の単位（３） ・ 文の成分（５） ・ 単語のいろいろ（５） <p>第２学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ４２５字 ○ 新出漢字には、本文中のルビが振ってある。 ○ 新出漢字が出てくる行の下脚注に漢字のみを示している。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」としてページ数、音訓、用例を示している。 ○ 巻末に「二年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> 意 調べたり考えたりして意味を理解する。（８８） 文 短文を作って表現に生かす。（２９） 同 同じ音をもつ語句を調べる。（７） 対 反対や対比の意味をもつ語句を調べる。（６） 類 似た意味をもつ語句を調べる。（１５） 考 考えるときの観点として生かす。（９） <p>【言語（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 敬語（１） ・ 話し言葉と書き言葉（１）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 類義語・対義語・多義語・同音語（１） <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉と文法 解説編 <p>言葉（解説）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 敬語（３）

<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し言葉と書き言葉 (3) ・ 類義語・対義語・多義語・同音語 (4) ○ 言葉の自習室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習に必要な用語 (索引) (2) ・ 理解に役立つ言葉 (2) ・ 表現に役立つ言葉 (2) 【漢字 (ページ数)】 ○ 漢字の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・ まちがえやすい漢字 (2) ・ 漢字の成り立ち (2) ・ 漢字の多義性 (2) ・ 同音の漢字 (2) ○ 漢字の練習 (5) ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二年生で学習した漢字 (11) ・ 小学校六年生で学習した漢字 (4) ・ 常用漢字表 (12) ・ 二年生で読みを学習した漢字・語 (1) 【文法 (ページ数)】 ○ 文法の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活用のない自立語 (1) ・ 活用のある自立語 (1) ・ 付属語のいろいろ (1) ○ 言葉と文法 解説編 <ul style="list-style-type: none"> 文法 (解説) <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年生の復習 (2) ・ 活用のない自立語 (4) ・ 活用のある自立語 (7) ・ 付属語のいろいろ (5) <p>第3学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 289字 ○ 新出漢字には、本文中のルビが振ってある。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新出漢字が出てくる行の下脚注に漢字のみを示している。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」としてページ数、音訓、用例を示している。 ○ 巻末に「三年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。

教 出	<p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <p>○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。</p> <p>意 調べたり考えたりして意味を理解する。(68)</p> <p>文 短文を作って表現に生かす。(20)</p> <p>同 同じ音をもつ語句を調べる。(1)</p> <p>対 反対や対比の意味をもつ語句を調べる。(2)</p> <p>類 似た意味をもつ語句を調べる。(18)</p> <p>考 考えるときの観点として生かす。(5)</p> <p>【言語 (ページ数)】</p> <p>○ 言葉の小窓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和語・漢語・外来語 (1) ・ 相手に対する配慮と表現 (1) ・ 慣用句・ことわざ (1) <p>○ 言葉と文法 解説編</p> <p>言葉 (解説)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和語・漢語・外来語 (3) ・ 相手に対する配慮と表現 (3) ・ 慣用句・ことわざ (3) <p>○ 言葉の自習室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習に必要な用語 (索引) (2) ・ 理解に役立つ言葉 (2) ・ 表現に役立つ言葉 (2) <p>【漢字 (ページ数)】</p> <p>○ 漢字の広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 呉音・漢音・唐音 (2) ・ 熟字訓 (2) ・ 異字同訓 (2) ・ 四字熟語 (2) <p>○ 漢字の練習 (5)</p> <p>○ 漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三年生で学習した漢字 (8) ・ 小学校六年生で学習した漢字 (4) ・ 常用漢字表 (13) ・ 三年生で読みを学習した漢字・語 (1) <p>【文法 (ページ数)】</p> <p>○ 文法の小窓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助詞のはたらき (1) ・ 助動詞のはたらき (1)
-----	--

教 出	<p>○ 言葉と文法 解説編</p> <p>文法（解説）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一，二年生の復習（３） ・ 助詞のはたらき（５） ・ 助動詞のはたらき（５） ・ 文法的に考える（３） ・ 古典文法活用表（発展） <p>☆ 新出漢字は，本文だけにルビを振り，脚注には漢字だけ示している。</p> <p>☆ 教材末の「この教材で学ぶ漢字」は，太字でフォントサイズも本文よりも大きく表示している。</p> <p>☆ 文法の学習の「付属語」は第３学年に掲載している。</p>
光村	<p>第１学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ３９０字 ○ 脚注に行数，音訓，本文中での読みを示している。 ○ 教材末に「新出漢字」として，ページ数，音訓を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」として，ページ数，音訓，部首，画数，筆順，用例，慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。 <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 意 意味を調べる（５・１） 文 短文を作る（２・８） 類 類義語を調べる（５） 対 対義語を調べる（３） 関 関連語句を確認する。（７） <p>【言語（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 声を届ける（２） ・ 続けてみよう（１） ・ 指示する語句と接続する語句（３） ・ 言葉を集めよう（２） ・ 方言と共通語（２） ・ さまざまな表現技法（３）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 書体の特徴（１） ・ 敬語を使う（１） ・ 語彙を豊かに（２）

光村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のための用語一覧（２） <p>【漢字（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の組み立て（２） ・ 漢字の音訓（２） ・ 漢字の成り立ち（２） ○ 漢字に親しもう（６） ○ 漢字の練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「練習」小学校六年生で学習した漢字（３） ・ 小学校六年生で学習した漢字一覧（２） ○ 学習を広げる <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年生で学習した漢字（１５） ・ 一年生で学習した音訓（１） ・ 常用漢字表（１４） ・ 常用漢字表 付表（１） <p>【文法（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法への扉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉のまとまりを考えよう（１） ・ 言葉の関係を考えよう（１） ・ 単語の性質を見つけよう（１） ○ 文法・漢字・振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の単位（４） ・ 文の組み立て（５） ・ 単語の分類（４） ・ 参考（４） <p>口語動詞活用表，口語形容詞活用表，口語形容動詞活用表，口語助動詞活用表</p> <p>第２学年</p> <p>【新出漢字の数および脚注等への示し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ４００字 ○ 脚注に行数，音訓，本文中での読みを示している。 ○ 教材末に「新出漢字」として，ページ数，音訓を示している。 ○ 巻末に「二年生で学習した漢字」として，ページ数，音訓，部首，画数，筆順，
	<p>用例，慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。</p> <p>【重要語句の脚注への示し方とその数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 <p>意 意味を調べる。（５５）</p>

光村	<div data-bbox="391 179 989 369"> <p> <input type="checkbox"/> 文 短文を作る。(21) <input type="checkbox"/> 類 類義語を調べる。(2) <input type="checkbox"/> 対 対義語を調べる。【対義語を挙げよう】(6) <input type="checkbox"/> 関 関連語句を確認する。(11) </p> </div> <div data-bbox="383 369 614 414">【言語 (ページ数)】</div> <div data-bbox="367 414 1212 795"> <p>○ 言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 類義語・対義語・多義語 (2) ・ 言葉を比べよう (2) ・ 敬語 (3) ・ 話し言葉と書き言葉 (2) <p>○ 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙を豊かに一抽象的な概念, 見方や考え方を表す言葉 (2) ・ 学習のための用語一覧 (2) </div> <div data-bbox="383 795 614 840">【漢字 (ページ数)】</div> <div data-bbox="367 840 997 1467"> <p>○ 漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熟語の構成 (2) ・ 同じ訓・同じ音をもつ漢字 (2) ・ 送り仮名 (2) ・ 漢字に親しもう (6) <p>○ 文法・漢字・振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [練習] 小学校六年生で学習した漢字 (3) ・ 小学校六年生で学習した漢字一覧 (2) <p>○ 学習を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二年生で学習した漢字 (15) ・ 二年生で学習した音訓 (1) ・ 常用漢字表 (14) ・ 常用漢字表 付表 (1) </div> <div data-bbox="383 1467 614 1512">【文法 (ページ数)】</div> <div data-bbox="367 1512 885 1803"> <p>○ 文法への扉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単語をどう分ける? (1) ・ 走る。走らない。走ろうよ。(1) ・ 一字違いで大違い (1) <p>○ 文法・漢字・振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年生の復習 (2) </div> <div data-bbox="414 1803 1189 1993"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立語 (4) ・ 用言の活用 (6) 口語動詞活用表, 口語形容詞活用表, 口語形容動詞活用表 ・ 付属語 (7) </div>
----	---

口語助動詞活用表

第3学年

【新出漢字の数および脚注等への示し方】

- 320字
- 脚注に行数、音訓、本文中での読みを示している。
- 教材末に「新出漢字」として、ページ数、音訓を示している。
- 巻末に「三年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例、慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。

【重要語句の脚注への示し方とその数】

- 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。

- 【意】 意味を調べる。(35)
- 【文】 短文を作る。(10)
- 【類】 類義語を調べる。(1)
- 【対】 対義語を調べる。(1)
- 【関】 関連語句を確認する。(4)

【言語 (ページ数)】

- 言葉
 - ・ 和語・漢語・外来語 (2)
 - ・ 慣用句・ことわざ・故事成語 (2)
- 資料
 - ・ 語彙を豊かに一見方や考え方を表す言葉、慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語 (2)
 - ・ 学習のための用語一覧 (2)

【漢字 (ページ数)】

- 漢字
 - ・ 熟語の読み方 (2)
 - ・ 漢字の造語力 (3)
 - ・ 漢字のまとめ (2)
 - ・ 漢字に親しもう (6)
- 文法・漢字・振り返り
 - ・ 小学校六年生で学習した漢字一覧 (2)
- 学習を広げる
 - ・ 常用漢字表について (2)

光村

- ・ 三年生で学習した漢字 (11)
- ・ 三年生で学習した音訓 (1)
- ・ 常用漢字表 (14)
- ・ 常用漢字表 付表 (1)

光村	<p>【文法（ページ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文法への扉 <ul style="list-style-type: none"> ・ すいかは幾つ必要？（１） ・ 「ない」の違いがわからない？（１） ○ 文法・漢字・振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 一・二年生の復習（２） ・ 文法を生かす（３） ・ 文法のまとめ（８） <p>口語動詞活用表，口語形容詞活用表，口語形容動詞活用表，口語助動詞活用表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を広げる <ul style="list-style-type: none"> ・ 発展 文語の活用 <p>☆ 新出漢字は，脚注の上段にその漢字の音読み訓読みを，下段に本文に出てくる単語とルビを示している。</p> <p>☆ 脚注の注意する語句に「関連語句を確認する」という活動がある。</p> <p>☆ 文法の学習の「付属語」は第２学年に掲載している。</p>
----	--

【国語】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③読書と情報の扱い方に関する事項
方 法	○読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等、情報の扱い方に関する事項に関わる内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【読書】</p> <p>【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】</p> <p>○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」を3つ設定し、3作品を掲載している。各学年とも、同単元内に読書案内「本で世界を広げよう」「名作を読もう」と言語活動の教材を掲載している。</p> <p>○ 各学年とも、教材の終わりの「てびき」に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。また、資料編に読書案内「本の世界を楽しもう」を掲載している。</p> <p>○ 書籍紹介数 3学年合計で361冊</p> <p>第1学年 教材 「碑」「風を受けて走れ」「トロッコ」 活動 「図書館で調べよう」「本のポップを作ろう」</p> <p>第2学年 教材 「卒業ホームラン」「鯉節—世界に誇る伝統食」「坊っちゃん」 活動 「ビブリオバトルをしよう」「調べて一枚レポートにまとめよう」</p> <p>第3学年 教材 「恩返し井戸を掘る」「何のために『働く』のか」「最後の一句」 活動 「読書会を開こう」「将来の目標や計画を立てよう」</p> <p>【情報の扱い方に関する事項】</p> <p>【情報の扱い方に関する事項に関わる内容】</p> <p>○ 各学年とも、本編に、情報活用に係る1教材を、単元を構成する学習の1つとして掲載している。また、各学年とも同単元内に「話す・聞く／話し合う」活動の教材を掲載している。</p> <p>○ 各学年とも、資料編にも、情報活用に係る教材を掲載している。</p> <p>第1学年 教材 「ニュースの見方を考えよう」 資料 著作権と引用 活動 話し合いで理解を深めよう「グループディスカッション」</p> <p>第2学年 教材 『正しい』言葉は信じられるか 資料 著作権について考える 活動 話し合いで問題を検討しよう「リンクマップによる話し合い」</p> <p>第3学年 教材 「いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災」 資料 情報の信頼性を確かめる 活動 話し合いで意見をまとめよう「合意形成を目指す話し合い」</p> <p>☆ 読書案内や読書活動などの読書に関するページは、地がオレンジ色になっている。</p> <p>☆ 情報活用に係る1教材を、単元を構成する学習の1つとして掲載している。各学年1作品を「読むこと」系統「言葉とメディア」で説明文を紹介し、ニュースや新</p>

東書	聞から考えさせている。
三省堂	<p>【読書】</p> <p>【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、「私の読書体験」を掲載し、文章中の図書及び筆者の著作した図書を紹介している。また、「読書活動」に係る言語活動を1つ掲載している。 ○ 各学年とも、教材の終わりや「学びの道しるべ」中に、「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編の前に「読書の広場」を設定し、「小さな図書館」の名称で書籍紹介を掲載している。また、各学年とも、「読書の広場」に5作品の読書教材を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で285冊 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 教材 本を読むことのおもしろさ 活動 「ブッククラブ」 第2学年 教材 生涯の友と出会う 活動 「ビブリオバトル」 第3学年 教材 谷間の君へ 活動 「ブックトーク」 <p>【情報の扱い方に関する事項】</p> <p>【情報の扱い方に関する事項に関わる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編の情報活用に係り「情報を関係づける」という単元を設定している。それぞれ資料を2つ掲載している。また、同単元内に書く活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編に「情報を活用する」として、情報活用に係る教材「情報探しの方法」「引用と著作権」を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 教材 複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する 活動 「行事案内リーフレット」 必要な情報をわかりやすく伝える 第2学年 教材 複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する 活動 「投稿文」 情報を関連づけて根拠を明確に示す 第3学年 教材 複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する 活動 「ポスター」 情報の信頼性を確かめて考えを発信する
	<p>☆ 「私の読書体験」では、最近の作家を紹介している。</p> <p>☆ 「情報を関係づける」という単元を設定し、単元の最初に学習の進め方を提示し、グラフ等の資料を用い（2教材）、書く活動へと関連付けている。（3学年共通）</p>

<p>教出</p>	<p>【読書】 【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】 ○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」として、2作品を掲載している。 また、2作品のうち最初の作品の終わりにある「みちしるべ」では、読書に係る言語活動について掲載し、後の作品では作者の紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編の「言葉の自習室」に読書に関わる教材4作品を掲載している。 ○ 各学年とも、各単元末と資料編に「広がる本の世界」として書籍紹介を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で274冊 第1学年 教材 「ベンチ」「蜘蛛の糸」 活動 本の帯やポップを作り、本を薦めよう 第2学年 教材 「夢を跳ぶ」「坊っちゃん」 活動 関心を広げ、課題を見つけてレポートを書こう 第3学年 教材 「薔薇のボタン」「最後の一句」 活動 ビブリオバトルで本の世界を広げよう</p> <p>【情報の扱い方に関する事項】 【情報の扱い方に関する事項に関わる内容】 ○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「メディアと表現」を設定し、第1学年は教材を4つ、第2・3学年は教材を3つ掲載している。 ○ 各学年の「メディアと表現」のうち、1つは教材内容を活かして書く言語活動を掲載している。 ○ 各学年とも、「メディアと表現」教材の「学びナビ」の中で、これまでの学習を踏まえた解説を加えるとともに、情報の扱い方を説明している。 第1学年 教材「全ては編集されている」 「写真で『事実』を表現する」 「広告の情報を考える」 「漫画で『物語』を表現する」 活動 広告を作る 第2学年 教材「SNSから自由になるために」 「脚本で動きを説明する」 「映画作品の表現を考える」 活動 小説を脚本に書きかえる 第3学年 教材「メディア・リテラシーはなぜ必要か？」 「新聞が伝える情報を考える」 「ニュースで情報を編集する」 活動 ニュースで情報を伝える</p>
	<p>☆ 各単元末の「広がる世界」で10冊程度を簡単な紹介文とともに紹介している。 ☆ 「読書への招待②」で取り上げた作品については、解説や作者についても詳しく紹介している。 ☆ 「情報」については、単元でまとめるのではなく、全体の複数か所で「メディアと表現」マークをつけて示している。また、3年間であらゆるメディアと表現につい</p>

教出	て考えさせるようになっている。
光村	<p>【読書】</p> <p>【読書に関わる内容及び紹介されている書籍数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、読書単元を2つ設定している。「読書生活を豊かに」は、「読書活動」「読書」「読書案内」「読書コラム」で構成している。「読書に親しむ」は、「読書」「読書案内」で構成している。いずれも、「読書」掲載作品について、「続きはこちら」で書籍紹介をしている。 ○ 各学年とも、作品脚注に「広がる読書」として書籍紹介を掲載している。 ○ 資料編では、第1学年は2作品と「読書感想文の書き方」を、第2学年は2作品、第3学年は4作品と「読書記録をつける」を、読書活動に係る教材として掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で277冊 <ul style="list-style-type: none"> 第1学年 教材 本の中の中学生、考える人になろう 活動 ポップを作ろう 読書掲示板で感想を共有しよう 読書記録を続けていこう 資料 読書感想文のかきかた 第2学年 教材 翻訳作品を読み比べよう 研究の現場にようこそ 活動 本の紹介合戦しよう 読書ポスターを作ろう 読みたい本のリストを作ろう 第3学年 教材 「私の一冊」を探しにいこう 本は世界への扉 活動 ブックトークをしよう 読書会を開こう これまでの読書生活を振り返り、これからの読書生活をデザインしよう 資料 読書記録をつける <p>【情報の扱い方に関する事項】</p> <p>【情報の扱い方に関する事項に関わる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報社会を生きる」を設定し、教材を掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「話す・聞く」「書く」活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、情報整理の方法を『「情報処理のレッスン」一覧』、情報と情報の関係を『「思考のレッスン」一覧』として資料編に掲載している。
	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年 教材 「情報を集めよう」 「情報を読み取ろう」 「情報を引用しよう」 活動 情報整理のレッスン「比較・分類」 思考のレッスン1「意見と根拠」

光村	<p>思考のレッスン2「原因と結果」</p> <p>第2学年 教材「メディアを比べよう」</p> <p>「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」</p> <p>『自分で考える時間』をもとう</p> <p>活動 情報整理のレッスン「思考の視覚化」</p> <p>思考のレッスン1「具体と抽象」</p> <p>思考のレッスン2「根拠の吟味」</p> <p>第3学年 教材「実用的な文章を読もう」</p> <p>「報道文を比較して読もう」</p> <p>活動 情報整理のレッスン「情報の信頼性」</p> <p>思考のレッスン「具体化・抽象化」</p> <p>☆ 「読書活動」で、様々な活動例を紹介している。</p> <p>☆ 全学年に「情報社会を生きる」という単元を設定している。そのほかの単元で情報に関する教材に情報のマークをつけている。巻末には「情報整理のレッスン」を掲載している。また、学習内容は発達段階に応じた課題となっている。</p>
----	--

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④問題解決的な学習を実施するための工夫
方 法	○実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標、学習活動

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすく伝える <ul style="list-style-type: none"> ・ 「調べて分かったことを伝えよう『食文化』のレポート」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふだんの生活の中からテーマを決め、調べて分かったことを整理する。 ○ 調べて分かった事実や自分の考えがよく伝わるように、分かりやすい構成でレポートを書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「食文化」について個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、調べて分かったことをレポートに書く活動を取り上げている。 <p>第2学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝え方を工夫する <ul style="list-style-type: none"> ・ 「郷土のよさを伝えよう『地域の魅力』の紹介文」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。 ○ 読み手を意識しながら、表現の効果などを確かめて、文章を推敲する。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 紹介したいことを決め、調べて分かったことを情報誌に書く活動を取り上げている。 <p>第3学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の展開を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「編集して伝えよう『環境』の新聞」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境について調べたいテーマを決め、集めた材料を検討し、伝えたいことを明確にする。 ○ 伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境についてグループでテーマを決め、テーマに関する題材の材料を集めて新聞を書く活動を取り上げている。 <p>☆ 日常生活や社会生活に関連付けた題材やテーマを発達段階に応じて取り上げている。</p>

東書	<p>る。</p> <p>☆ 教材の中に「言葉の力」を掲載し、書く学習過程に応じたポイントをまとめている。</p>
三省堂	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ わかりやすく伝える <ul style="list-style-type: none"> ・ 「レポート 調べたことを整理してわかりやすくまとめる」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。 ○ レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を身近なもの等から決め、情報をカードに記録して整理した後、レポートの形式で書く活動を取り上げている。 <p>第2学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を関係づける <ul style="list-style-type: none"> ・ 「投稿文 情報を関連づけて根拠を明確に示す」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ○ 自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共生社会の実現に関して、自分の立場を決め、意見の根拠となる情報を整理した後、自分の意見が明確になるよう投稿文を書く活動を取り上げている。 <p>第3学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を関係づける <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ポスター 情報の信頼性を確かめて考えを発信する」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書く目的や意図に応じて文章の種類を選択し、読み手を説得できるよう構成を工夫する。 ○ 信頼性の高い資料を適切に引用して、自分の考えがわかりやすく伝わる文章を書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会生活における課題について題材を決め、文章の種類や引用する資料を検討した後、図表やグラフ、配置等を工夫してポスターを書く活動を取り上げている。
	<p>☆ 日常生活や社会生活に関連付けた題材やテーマを発達段階に応じて取り上げている。教材の中に「～のポイント」というコラムを設け、書く文章の種類に応じたポイントをまとめている。</p> <p>☆ 学習過程に沿って、学び方を確かめて身につけられるよう、場面に分けて「～の</p>

三省堂	<p>ポイント」などのコラムを示し、書く文章の種類に応じたポイントをまとめている。</p> <p>☆ 「領域別教材一覧 つけたい力を確かめよう」につけたい力の中に「情報の扱い方」を掲載している。</p>
教出	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権／多様性／平和 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た ・ 「材料を整理して案内文を書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ○ 目的や意図を意識して、案内文を書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材を決め、必要な情報を集め、整理した後、相手や目的を意識しながら、案内文を書く活動を取り上げている。 <p>第2学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己／他者／物語 かすかな湖のにおいは、そこにもあった ・ 「新聞の投書を書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な方法で材料を集める。 ○ 社会生活の中から題材を選んで書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テーマについて課題を設定し、材料を集め、構成を検討した後、新聞の投書を書く活動を取り上げている。 <p>第3学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近代化／国際社会／共生 生命は、恒常的に見えて、いずれも一回性の現象である ・ 「情報をまとめて作品集を作る」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の文章の収集と整理をする。 ○ 学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに書いてきた文章の中から作品集のテーマに合う作品を選んだ後、構成を考えたり、前書き等を書いたりする活動を取り上げている。
	<p>☆ 主に学校行事など学校生活と関連付けた題材やテーマを取り上げている。</p> <p>☆ 学びを進めるキーワードを各単元に位置づけている。</p> <p>☆ 「～ヒント」のコラムを設け、学習過程に応じた身につけたい「言葉の力」としてポイントをまとめている。</p>

光村	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筋道を立てて <ul style="list-style-type: none"> ・ 「根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本や資料から文章や図表を引用する。 ○ 根拠を明確にし、伝えたいことの中心が明らかになるよう、工夫して書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生の生活から課題を決め、実態調査やアンケート等の結果を整理した後、課題に関連する資料を引用しながらレポートを書く活動を取り上げている。 <p>第2学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広がる学びへ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な方法を用いて、さまざまな情報を収集する。 ○ 収集した情報を、図や記号などを用いて整理し、伝えたいことを明確にして書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる職業を決め、項目や内容に適した調べ方を考えて情報を集め、整理した後、見出しや文章等の配置を考え、紙面を書く活動を取り上げている。 <p>第3学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 深まる学びへ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ○ 取材した内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記事の内容を決め、文章の種類を添える図表や写真を検討した後、構成や配置を考え、紙面を書く活動を取り上げている。 <p>☆ 主に学校行事など学校生活と関連付けた題材やテーマを取り上げている。</p> <p>☆ 教材の終わりに「学習の窓」というコラムを掲載し、書く文章の種類に応じたポイントをまとめている。</p> <p>☆ 「学習の見通しをもとう」で、どんな力を身につけるか整理して示している。</p>
----	---

【国語】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	○単元名・教材名、目標、学習過程・見通しを立てさせるための資料等の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <p>○ 考えをまとめる「根拠を明確にして書こう 『写真』の意見文」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書く。</p> <p>○ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の意見文のよい点や改善点を見いだす。</p> <p>【学習過程】</p> <p>○ 学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①問題を検討する ②長所・短所を書き出し、根拠を考える ③意見文を書く ④読み合って感想を交換する <p>○ 振り返り</p> <p>根拠を明確にして意見文を書く学習を通して、どんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう。</p> <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <p>○ 新聞記事と写真の例、長所と短所を書き出した例、意見文の完成例・問題（新聞記事と写真）</p>
	<p>第2学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <p>○ 説得力を高める「根拠を吟味して書こう 『地図』の意見文」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味する。</p> <p>○ 文章の構成を工夫し、分かりやすく説得力のある意見文を書く。</p> <p>【学習過程】</p> <p>○ 学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の立場を決める ②根拠を考え、吟味する ③お互いの根拠を吟味し合う ④意見文を書く ⑤完成した意見文を読み合う <p>○ 振り返り</p> <p>根拠を吟味して意見文を書く学習を通して、どんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう。</p> <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p>

東書	<p>○ 地図と参考資料（新聞記事）、根拠の例、意見文の完成例、問題（地図と市たより記事）</p> <p>第3学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <p>○ 多面的に検討する「観察・分析して論じよう 『ポスター』の批評文」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。</p> <p>○ 論の進め方を考え、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。</p> <p>【学習過程】</p> <p>○ 学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 批評の対象について知る ② 対象を観察・分析する ③ 対象を比較して判断を下す ④ 批評文を書く ⑤ 読み合って評価する <p>○ 振り返り</p> <p>観察・分析や比較をして批評文を書く学習を通して、どんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう。</p> <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <p>○ 参考資料、ポスター、観察・分析のメモの例、批評文の完成例 問題（新聞記事・ポスター）</p> <p>☆ 学習の見通しを立てさせるための、作品完成例や写真、イラストなど様々な資料を掲載している。</p> <p>☆ 振り返りの課題が提示しており、自分の言葉で振り返りをするようにしている。</p>
三省堂	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <p>視野を広げる「意見文 根拠を明確にして考えを述べる」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 伝えたい内容の中心が明確になるように、文章の構成や根拠の明確さを意識してまとめる。</p> <p>○ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。</p> <p>【学習過程】</p> <p>○ 学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 交流をとおして意見を作る ② 意見文を組み立てる ③ タイトルを考える ④ 意見文を読み合う <p>○ 学びを振り返る</p>

三省堂	<p>目標をもう一度確認し，学んだことを自分の言葉でまとめましょう。</p> <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三角ロジックの図，意見文の例 <p>第2学年</p> <p>【单元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視野を広げる「論説文 構成を工夫して考えを伝える」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように，文章の構成や展開を工夫して書く。 ○ 根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。 <p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①課題について，自分の考えをまとめる ②組み立てを考えて論説文を書く ③論説文を読み合う ○ 学びを振り返る <p>目標をもう一度確認し，学んだことを自分の言葉でまとめましょう。</p> <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三角ロジックの図，論説文の例 <p>第3学年</p> <p>【单元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ものの見方・感性を養う「批評文 観察・分析をとおして評価する」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み手を説得できるような論理の展開を考え，構成を工夫して書く。 ○ 論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し，自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 <p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①題材を決める ②対象を観察・分析する ③構成を考えて批評文を書く ④交流して相互評価する ○ 学びを振り返る <p>目標をもう一度確認し，学んだことを自分の言葉でまとめましょう。</p> <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 思考の方法，批評文の例 <p>☆ 学習の見通しを立てさせるための，作品完成例，思考をどのように整理していくかを示す図などの資料を掲載している。全学年通して構成をパターン化している。</p> <p>☆ 振り返りの課題を提示し，自分の言葉で振り返りをするようしている。</p>
教出	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p>

教出	<p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然/環境/科学 森と川と海は一つなのだ「根拠を明確にして意見文を書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意見と根拠の関係を理解する。 ○ 根拠をはっきりさせて、意見文を書く。 <p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①伝えたいテーマを選ぶ。 ②選んだテーマについて、客観性のある根拠を考えたり資料を探したりする。 ③自分の考えがはっきりと伝わるように、根拠を明確にして文章を書く。 ④言葉づかいや根拠の示し方に注意して、推敲する。 ⑤書いた文章を友達と読み合い、「根拠」を確認し合う。 ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見と根拠の関係を理解している。 ・ 根拠をはっきりさせて、意見文を書いている。 <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 比較・関係づけて根拠を考えるヒント、意見文の例
	<p>第2 学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近代化/国際社会/共生 紙管の工場は、日本中、世界中のどこにでもある「根拠をもとに意見文を書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な考え方があ問題について根拠をもとに推論して考える。 ○ 考えの理由づけを示して意見文を書く。 <p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①多様な考え方があ問題について題材を決め、探した材料を整理する。 ②文章の構成を工夫する。 ③根拠の適切さを考えて具体例を示し、自分の考えが伝わる文章にする。 ④読み手の立場に立って、文章を整える。 ⑤読み手からの助言を踏まえ、自分の文章を振り返る。 ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な考え方があ問題について根拠をもとに推論して考えている。 ・ 考えの理由づけを示して意見文を書いている。 <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 推論の根拠を適切に示すヒント、意見文の例
	<p>第3 学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現/対話/思想 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ「説得力のある批評文を書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を比較して、自分の考えを整理する。 ○ 伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。

<p>教出</p>	<p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①批評する観点を決めて対象を観察する。 気づいた特徴を分析する。 ②判断や評価を伝えやすい構成を考える。 ③効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。 ④批評できているかに注意して推敲する。 ⑤できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。 ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を比較して、自分の考えを整理している。 ・ 伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書いている。 <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 比較・関連づけて批評するヒント、批評文の例 <p>☆ 学習の見通しを立てさせるための資料を掲載している。</p> <p>☆ 振り返りのチェック項目を提示している。</p>
<p>光村</p>	<p>【書くこと】</p> <p>第1学年</p> <p>【单元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筋道を立てて「根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本や資料から文章や図表を引用する。 ○ 根拠を明確にし、伝えたいことの中心が明らかになるように、工夫して書く。 <p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①課題を決め、調査を行う ②調査結果を整理し、構成を考える ③図表などを引用してレポートを作成する ④レポートを読み、評価し合う ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を明らかにして、説得力のある文章を書くことができたか。 ・ さまざまな情報を整理できたか。 <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート結果を整理した例、レポートの例 <p>第2学年</p> <p>【单元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 論理を捉えて「根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の意見を支えるためのより適切な根拠の在り方について考える。 ○ 適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。
	<p>○ 論理を捉えて「根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の意見を支えるためのより適切な根拠の在り方について考える。 ○ 適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。

光村	<p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①課題を決め, 分析する ②立場を決めて考えをまとめる ③反論を想定して, 構成を考える ④意見文にまとめる ⑤学習を振り返る ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ①根拠の適切さを考えたか。 ②自分の意見が明確に伝わるように, 文章の構成を工夫したか。 <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○構成のしかたの表, 構成メモ, 意見文の例 <p>第3学年</p> <p>【単元名・教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの考えを「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な題材を基に, その価値などについて評価する。 ○ 表現のしかたを考えたり資料を引用したりして, 説得力のある文章を書く。 <p>【学習過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ <ul style="list-style-type: none"> ①題材を選ぶ ②観点を決めて分析する ③構成を考える ④推敲して仕上げる ⑤学習を振り返る ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ どのように分析・吟味して批評をまとめたか。 ・ どのような工夫をして文章にまとめたか。 <p>【見通しを立てさせるための資料等の扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材の例 (広告), 分析のしかたの表, 構成を考える図, 批評文の例 <p>☆ 学習の見通しを立てさせるための, 作品完成例, 写真, イラストなど様々な資料を示している。構成を全学年通してパターン化している。</p> <p>☆ 振り返りのチェック項目を提示している。</p>
----	---

【国語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥単元・教材等の配列
方 法	○配列の特徴, 総単元数, 領域ごとの教材数

発行者	調査・研究内容																																																
東書	<p>【配列の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「基礎編」, 「資料編」の3部からなる。 ○ 各単元は, 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は, 全学年, 第5単元に配列している。 ○ 基礎編は, 「学びを支える言葉の力」「文法解説」で構成している。 ○ 資料編は, 「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉」で構成している。 <p>【総単元数・領域ごとの教材数】(本編のみ)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">総単元数・教材数</th> </tr> <tr> <th colspan="2">学年</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <th colspan="2">総単元数</th> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <th rowspan="8">領域ごとの教材数</th> <th>話すこと・聞くこと</th> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <th>書くこと</th> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <th>読むこと</th> <td>14</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <th>伝統的な言語文化</th> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <th>言葉の特徴やきまり</th> <td>9</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <th>情報の扱い方</th> <td>8</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <th>漢字</th> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <th>読書</th> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>☆ 一年間の学習の見通しをもたせるために, 「() 年で学ぶこと」という教材の一覧を掲載している。</p> <p>☆ 学年ごとの総単元数は, 7である。「読書」の教材数が4～5である。</p>	総単元数・教材数					学年		1	2	3	総単元数		7	7	7	領域ごとの教材数	話すこと・聞くこと	3	3	3	書くこと	6	6	4	読むこと	14	15	15	伝統的な言語文化	4	3	3	言葉の特徴やきまり	9	6	6	情報の扱い方	8	6	6	漢字	5	6	7	読書	5	4	4
総単元数・教材数																																																	
学年		1	2	3																																													
総単元数		7	7	7																																													
領域ごとの教材数	話すこと・聞くこと	3	3	3																																													
	書くこと	6	6	4																																													
	読むこと	14	15	15																																													
	伝統的な言語文化	4	3	3																																													
	言葉の特徴やきまり	9	6	6																																													
	情報の扱い方	8	6	6																																													
	漢字	5	6	7																																													
	読書	5	4	4																																													
三省堂	<p>【配列の特徴】</p> <p>「本編」と「資料編」の2部からなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元は, 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は, 全学年, 第5単元に配列している。 ○ 「読むこと」の学習は, 教材の後に「読み方を学ぼう」を配列している。 ○ 「読書の広場」は, 読書案内である「小さな図書館」と, 古典を含む5つの読書教材で構成している。 ○ 「資料編」は, 「情報を活用する」「古典芸能に親しむ」「社会生活に生かす」「参 																																																

考資料」で構成している。

【総単元数・領域ごとの教材数】（本編のみ）

総単元数・教材数				
学年		1	2	3
総単元数		9	9	8
領域 ご と の 教 材 数	話すこと・聞くこと	5	5	5
	書くこと	7	7	5
	読むこと	12	12	12
	伝統的な言語文化	5	4	4
	言葉の特徴やきまり	6	5	6
	情報の扱い方	21	16	15
	漢字	2	2	2
	読書	1	1	1

☆ 一年間の学習の見通しをもたせるために、「領域別教材一覧◎つけない力」を確かめよう」という教材の一覧を掲載している。

☆ 「情報の扱い方」の教材数が、15～21である。「読書」の教材数が1である。

☆ 学年ごとの総単元数は、8～9である。

【配列の特徴】

- 本編と巻末付録（言葉の自習室）の2部からなる。
- 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。
- 古典教材は、全学年第5単元に配列し、単元末に「読むこと」（読書）を含んでいる。
- SDGsを国語科の視点で教材化し、「持続可能な未来を創るために」を新設している。
- 「読むこと」の学習は、教材の前に「学びナビ」（見通し）を配列している。
- 巻末付録（言葉の自習室）は、「読書」4作品と資料で構成している。

【総単元数・領域ごとの教材数】（本編のみ）

総単元数・教材数				
学年		1	2	3
総単元数		9	9	8
領域 ご と の 教 材 数	話すこと・聞くこと	5	5	5
	書くこと	7	6	5
	読むこと	12	13	16
	伝統的な言語文化	3	3	3
	言葉の特徴やきまり	6	6	6
	情報の扱い方	12	12	11

材	漢字	4	4	4
数	読書	2	2	2

教出

- ☆ 一年間の学習の見通しをもたせるために、「言葉の地図」という教材の一覧を掲載している。
- ☆ 学年ごとの総単元数は、8～9である。

【配列の特徴】

- 本編と巻末資料（学習を広げる）の2部からなる。
- 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。
- 古典教材は、全学年で第6単元に配列している。
- 情報教材では「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」を配列している。
- 「読むこと」の学習は、教材の終わりに「学習の窓」を設け、基本的な観点を示している。
- 巻末資料（学習を広げる）は、「読む」「話す・聞く」「書く」「情報」「読書」「伝統的な言語文化」「言葉・漢字」との関連で構成している。

【総単元数・領域ごとの教材数】（本編のみ）

光村

総単元数・教材数				
学年		1	2	3
総単元数		8	8	8
領域 ご と の 教 材 数	話すこと・聞くこと	7	6	6
	書くこと	14	12	8
	読むこと	17	16	15
	伝統的な言語文化	2	4	3
	言葉の特徴やきまり	8	8	6
	情報の扱い方	6	6	4
	漢字	4	4	4
	読書	3	3	3

- ☆ 一年間の学習の見通しをもたせるために、「学習の見通しをもとう」という教材の一覧を掲載している。
- ☆ 第1学年の「伝統的な言語文化」の教材数が2である。
- ☆ 学年ごとの総単元数は、8である。

【国語】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦伝統と文化に関する内容の記述
方 法	○伝統的な言語文化に関する単元数，単元名・教材名

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【単元数】</p> <p>1</p> <p>【単元名】</p> <p>伝統文化に親しむ</p> <p>【教材名】※（ ）内はコラム名</p> <p>移り行く浦島太郎の物語，伊曾保物語（古典の仮名遣い），竹取物語（古典の言葉とその意味），矛盾（故事成語の例，漢文の読み方）</p>
	<p>第2学年</p> <p>【単元数】</p> <p>1</p> <p>【単元名】</p> <p>伝統文化を味わう</p> <p>【教材名】</p> <p>枕草子，徒然草（係り結び），平家物語（文体を味わう），漢詩（漢詩の形式）</p>
	<p>第3学年</p> <p>【単元数】</p> <p>1</p> <p>【単元名】</p> <p>伝統文化を味わう</p> <p>【教材名】</p> <p>万葉・古今・新古今（和歌の修辞），おくのほそ道（俳諧の歴史），論語（漢文の読み方，古典の言葉）</p> <p>☆ 漢詩を第2学年に，「論語」を第3学年に掲載している。</p> <p>☆ 教材の終わりのコラムは，文法的な内容だけでなく，古典の読みを深めるための内容もある。</p>
三省堂	<p>第1学年</p> <p>【単元数】</p> <p>1</p>
	<p>【単元名】</p> <p>古典に学ぶ</p> <p>【教材名】</p> <p>月に思う心，竹取物語（古文の読み方—古典の仮名遣い），故事成語—矛盾（漢文の読み方—訓読の仕方）</p>

三省堂	<p>第2学年</p> <p>【単元数】 1</p> <p>【単元名】 古典に学ぶ</p> <p>【教材名】 枕草子, 徒然草, 平家物語 (読み方を学ぼう—物語の転換点, あの人の歌), 漢詩の世界 (漢文の読み方—漢詩の形式)</p> <p>第3学年</p> <p>【単元数】 1</p> <p>【単元名】 古典に学ぶ</p> <p>【教材名】 和歌の世界—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 (コミュニケーションツールとしての歌), おくのはそ道 (読み方を学ぼう—状況・背景), 論語 (漢文の読み方—訓読の仕方の確認)</p> <p>☆ 漢詩を第2学年に, 「論語」を第3学年に掲載している。</p> <p>☆ 教材の終わりのコラムは, 文法的な内容だけでなく, 古典の読みを深めるための内容もある。</p>
教出	<p>第1学年</p> <p>【単元数】 1</p> <p>【単元名】 伝統／文化／歴史 今は昔, 竹取の翁といふ者ありけり</p> <p>【教材名】 昔話と古典—箱に入った桃太郎—, 物語の始まり—竹取物語— (古典の仮名遣い, 古典の言葉), 故事成語—中国の名言— (漢文の読み方)</p> <p>第2学年</p> <p>【単元数】 1</p> <p>【単元名】 伝統／文化／歴史 祇園精舎の鐘の声, 諸行無常の響きあり</p> <p>【教材名】 敦盛の最期—平家物語— (歴史的仮名遣い, 係り結び), 随筆の味わい—枕草子・徒然草—, 二千五百年前からのメッセージ—孔子の言葉 (置き字)</p>
	<p>第3学年</p> <p>【単元数】 1</p>

教出	<p>【単元名】 伝統／文化／歴史 月日は百代の過客にして、行きかふ年も、また旅人なり</p> <p>【教材名】 旅への思い―芭蕉と『おくのほそ道』, 和歌の調べ―万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 (歴史的仮名遣い, 和歌の修辞, 和歌の句切れとリズム), 風景と心情―漢詩を味わう (漢詩の表現の特徴, 日本人が作った漢詩)</p> <p>☆ 「論語」を第2学年に, 漢詩を第3学年に掲載している。 ☆ 教材の終わりのコラムは, 文法的な内容が中心である。</p>
光村	<p>第1学年</p> <p>【単元数】 1</p> <p>【単元名】 いにしえの心にふれる</p> <p>【教材名】 音読を楽しもう―いろは歌―, 古典の世界, 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から (古典の言葉), 今に生きる言葉 (故事成語を使って体験文を書こう, 漢文を読む)</p> <p>第2学年</p> <p>【単元数】 2</p> <p>【単元名】 広がる学びへ いにしえの心を訪ねる</p> <p>【教材名】 枕草子, 源氏と平家 (音読を楽しもう―平家物語), 扇の的―「平家物語」から, 仁和寺にある法師―「徒然草」から (係り結び, 人物の特徴を捉えて論じよう), 漢詩の風景 (律詩について)</p> <p>第3学年</p> <p>【単元数】 2</p> <p>【単元名】 深まる学びへ いにしえの心を受け継ぐ</p> <p>【教材名】 学びて時に之を習ふ―「論語」から (漢文の訓読) 和歌の世界 (音読を楽しもう―古今和歌集 仮名序), 君待つと―万葉・古今・新古今 (和歌の表現方法), 夏草―「おくのほそ道」から (俳句と俳諧, 古典の言葉を引用し, メッセージを贈ろう), 古典名句・名言集</p> <p>☆ 漢詩を第2学年に, 「論語」を第3学年に掲載している。 ☆ 教材の終わりのコラムは, 文法的な内容が中心である。</p>

光村	<p>☆ 第2学年及び第3学年では、冒頭の単元と6つめの単元の2か所で古典教材を掲載している。</p> <p>☆ 古典学習を言語活動につなげて、学習を深めるページを各学年で掲載している。</p>
----	---

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧本文記述との関連付けがなされた図表等
方 法	○文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名, 目標, 図表等の種類

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「オオカミを見る目」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 段落の役割や段落どうしの関係に注意して文章の構成を捉え, 内容を読み取る。</p> <p>○ 文章の書き方の工夫について考える。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 絵, 写真</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「私のタンポポ研究」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 事実から筆者がどのように考えを導いているかを捉える。</p> <p>○ 必要な情報を取り出して要約する。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ グラフ</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「ニュースの見方を考えよう」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章を読み, ニュースを比べて, ニュースの見方について自分の考えを持つ。</p> <p>○ 意図に応じて材料を選び, ニュースを編集する。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 絵</p>
	<p>第2学年</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「ハトはなぜ首を振って歩くのか」</p> <p>【目標】</p> <p>○ まとまりどうしの関係に注意して文章の構成を捉え, 内容を読み取る。</p> <p>○ 文章と図表を結び付けて読み, 図表の役割を考える。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 連続写真, 図, 写真</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「黄金の扇風機」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章を読み比べて, 論の進め方について考える。</p> <p>○ 文章の内容について, 自分の知識や体験と結び付けて考えを深める。</p> <p>【図表等の種類】</p>

東書	<p>○ 写真 【教材名】 ○ 「サハラ砂漠の茶会」 【目標】 ○ 文章を読み比べて、論の進め方について考える。 ○ 文章の内容について、自分の知識や体験と結び付けて考えを深める。 【図表等の種類】 ○ 写真 【教材名】 ○ 「『正しい』言葉は信じられるか」 【目標】 ○ 文章を読んで、事実の述べ方が読み手に与える印象の違いについて考える。 ○ 構成や表現を工夫して、新聞記事を書き換える。 【図表等の種類】 ○ 写真、絵、図</p> <p>第3学年 【教材名】 ○ 「絶滅の意味」 【目標】 ○ 論の進め方や説明の仕方について考える。 ○ 人間と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。 【図表等の種類】 ○ 写真、絵、図、表 【教材名】 ○ 「いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災」 【目標】 ○ 情報やメディアの意義について考えを深める。 【図表等の種類】 ○ 写真、新聞</p> <p>☆ 全学年において、多様な図表等が掲載した教材を示している。 ☆ 第2学年で、図表等と結びつけて、文章を読むことを目標とした教材を1つ掲載している。</p>
三省堂	<p>第1学年 【教材名】 ○ 「クジラの飲み水」 【目標】 ○ 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 ○ 読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。 【図表等の種類】 ○ 写真、グラフ 【教材名】</p>

三省堂	<p>○ 「玄関扉」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。</p> <p>○ 論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 絵、図</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「意味と意図—コミュニケーションを考える」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。</p> <p>○ 文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 絵</p> <p>第2学年</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「人間は他の星に住むことができるのか」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。</p> <p>○ 文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 図、写真</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「壁に残された伝言」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。</p> <p>○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 写真、図</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「一〇〇年後の水を守る」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。</p> <p>○ 文章を読んで理解したことと、知識や経験とを結びつけて、自分の考えを広げる。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 図</p> <p>第3学年</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「間の文化」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する。</p> <p>○ 「間」や「和」を観点にして、日本文化について自分の考えを深める。</p> <p>【図表等の種類】</p>
-----	--

三省堂	<p>○ 写真, 絵, 楽譜</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「フロン規制の物語—〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章に表れているものの見方や考え方を捉える。</p> <p>○ 文章を批判的に読み, 科学と社会との関係について自分の考えを広げる。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 写真, グラフ, 図</p> <p>☆ 全学年において, 多様な図表等を掲載した教材を示し, 本文の記述と結びついた, 読解の助けとなるような図表等を掲載している。</p> <p>☆ 第2学年で, 図表等と結びつけて, 文章を読むことを目標とした教材を1つ掲載している。</p>
教出	<p>第1学年</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「自分の脳を知っていますか」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章の中心的部分に着目し, 内容を捉える。</p> <p>○ 文章の構成を捉え, 要約に生かす。</p> <p>○ 「脳の奇妙な癖」を理解し, 筆者の考えをまとめる。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 絵</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「森には魔法つかいがいる」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 必要な情報に着目して, 調べたり考えたりしながら読む。</p> <p>○ 問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。</p> <p>○ 筆者の考えや述べ方を踏まえ, 根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 図, 写真</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「子どもの権利」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ, 文章内容を捉える。</p> <p>○ 論理の構成や展開に着目して, 筆者の主張を読む。</p> <p>○ 自分の経験と関連づけて読み, 自分の考えをまとめる。</p> <p>【図表等の種類】</p>
	<p>○ 写真, 絵</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「言葉がつなぐ世界遺産」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 問いと答え, 事実と意見の関係を捉える。</p>

教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事実と意見の関係，文章の構成や展開に注意して読み，筆者の考えを捉える。 ○ 筆者の考えについて，自分の考えをまとめ，理解を確かにする。 【図表等の種類】 ○ 図，写真 <p>第2学年</p> <p>【教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の花火の楽しみ」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ○ 説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ○ 花火の魅力について，筆者の考えを捉え，自分の考えをまとめる。 <p>【図表等の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，図 <p>【教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「水の山 富士山」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ○ 説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ○ 富士山の恵みについて，筆者の考えを捉え，自分の考えをまとめる。 <p>【図表等の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，図，絵 <p>【教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「紙の建築」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事例の役割や効果を確かめながら読む。 ○ 事実と主張を関連づけて読み，筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ○ 筆者の考えを踏まえ，社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 <p>【図表等の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，図 <p>【教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ガイアの知性」 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者が用いる語句の意味を捉える。 ○ 筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ○ 自然や知性に対する筆者の考え方について，自分のもつ知識や経験と結びつけ，考えをまとめる。 <p>【図表等の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真
	<p>第3学年</p> <p>【教材名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「async—同期しないこと」 <p>【目標】</p>

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例と主張とを関連づけて読む。 ○ 文章を比べ、評価しながら読む。 ○ 文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 【図表等の種類】 ○ 写真 【教材名】 ○ 「問いかける言葉」 【目標】 ○ 事例と主張とを関連づけて読む。 ○ 文章を比べ、評価しながら読む。 ○ 文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 【図表等の種類】 ○ 写真 <p>☆ 全学年において、図表等を掲載した教材を示している。</p> <p>☆ 第2学年で、図表等と結びつけて、文章を読むことを目標とした教材を2つ掲載している。</p>
<p>光村</p>	<p>第1学年</p> 【教材名】 ○ 「ダイコンは大きな根？」 【目標】 ○ 本文中で比較がどのように使われているか確かめる。 ○ 段落の役割に注目して、文章の内容を捉える。 【図表等の種類】 ○ 図 【教材名】 ○ 「ちょっと立ち止まって」 【目標】 ○ 筆者の主張と事例との関係を理解する。 ○ 段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 【図表等の種類】 ○ 絵 【教材名】 ○ 「比喻で広がる言葉の世界」 【目標】 ○ 比喻について理解し、言葉についての考えを深める。 ○ 文章全体における各段落の役割をおさえ、文章の内容を正確に捉える。 【図表等の種類】
	○ 図 【教材名】 ○ 『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ 【目標】 ○ 筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。

光村	<p>○ 文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 写真, グラフ, 図, 表</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 『『不便』の価値を見つめなおす』</p> <p>【目標】</p> <p>○ 必要な情報を取り出し, 結び付けて要約する。</p> <p>○ 筆者の主張を要約し, それに対する自分の考えをもつ。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 図, 写真</p> <p>第2学年</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「クマゼミ増加の原因を探る」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章の構成や展開について, 理解を深める。</p> <p>○ 文章全体と部分の関係や, 文章と図表の関係に注意して読む。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 写真, 図, グラフ</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「モアイは語る―地球の未来」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 意見を裏づけるための, 適切な根拠のあり方について理解する。</p> <p>○ 自分の知識や考えと比べながら, 文章の構成や論理の展開を吟味する。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 写真, 図</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「君は『最後の晚餐』を知っているか」</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章の構成における具体と抽象の関係を理解する。</p> <p>○ 観点を明確にして文章を比較し, その分析を基に構成や表現の効果を考える。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 絵, 写真</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 『『最後の晚餐』の新しさ』</p> <p>【目標】</p> <p>○ 文章で使われている比較の効果を理解する。</p> <p>○ 観点を明確にして文章を比較し, その分析を基に構成や表現の効果を考える。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 年表, 絵</p>
	<p>第3学年</p> <p>【教材名】</p> <p>○ 「作られた『物語』を超えて」</p> <p>【目標】</p>

光村	<p>○ 文章における具体と抽象の関係を捉える。</p> <p>○ 論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。</p> <p>【図表等の種類】</p> <p>○ 写真，図</p> <p>☆ 全学年において，多様な図表等を掲載した教材を示している。</p> <p>☆ 第2学年で，図表等と結びつけて，文章を読むことを目標とした教材を1つ掲載している。</p>
----	---

【国語】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨巻末資料の示し方
方 法	○巻末資料の示し方と内容及びページ数

発行者	調査・研究内容		
東書	【巻末資料の示し方】 ○ 「基礎編」「資料編」として、全学年に示している。		
	巻末資料の示し方	内 容 (第1学年)	ページ数
	基礎編	○ 「学びを支える言葉の力」	24
		○ 「文法解説」	17
	資料編	○ 「学習を始める前に」	5
		○ 「そこに僕はいた」等 2編他	19
		○ 古典「さまざまな古典作品」等	4
		○ 「話すこと・書くこと題材例」等	7
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」等	25
		○ 「言葉を広げよう」「学習用語一覧」	5
		○ 「学びを支える言葉の力」まとめ	折込(4)
		○ 「言葉の力一覧」	2
	巻末資料の示し方	内 容 (第2学年)	ページ数
	基礎編	○ 「学びを支える言葉の力」	24
		○ 「文法解説」	15
	資料編	○ 「カメレオン」等 2編他	20
		○ 古典「書き手の肖像—清少納言と兼好法師」等	8
		○ 「話すこと・書くこと題材例」等	9
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」等	25
		○ 「言葉を広げよう」「学習用語一覧」	5
		○ 「学びを支える言葉の力」まとめ	折込(4)
		○ 「言葉の力一覧」	2
	巻末資料の示し方	内 容 (第3学年)	ページ数
	基礎編	○ 「学びを支える言葉の力」	24
		○ 「文法解説」	9
	資料編	○ 「風の唄」等 2編他	24
		○ 古典「恋歌をよむ」等	12
		○ 「話すこと・書くこと題材例」等	8
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」等	27
		○ 「言葉を広げよう」「学習用語一覧」	6
		○ 「学びを支える言葉の力」まとめ	折込(4)
		○ 「言葉の力一覧」	2
	☆ 「学びを支える言葉の力」は、キャラクターの会話で進行している。		
	☆ ページ数 第1学年(112) 第2学年(112) 第3学年(116)		

【巻末資料の示し方】

○ 「文法のまとめ」「読書の広場」「資料編」として、全学年に示している。

巻末資料の示し方	内 容 (第1学年)	ページ数
文法のまとめ	○ 「文法のまとめ」	12
読書の広場	○ 「小さな図書館」	6
	○ 「電車は走る」等 5編	31
資料編	○ 「情報を活用する」	8
	○ 「古典芸能に親しむ」	6
	○ 「社会生活に生かす」	10
	○ 「参考資料」	
	「日本文学名作集」	4
	「学習用語辞典」等	14
	「一年生で学ぶ漢字字典」等	34
	○ 「読み方を学ぼう一覧」	折込 (5)
巻末資料の示し方	内 容 (第2学年)	ページ数
文法のまとめ	○ 「文法のまとめ」	16
読書の広場	○ 「小さな図書館」	6
	○ 「ポテト・スープが大好きな猫」等 5編	29
資料編	○ 「情報を活用する」	8
	○ 「古典芸能に親しむ」	6
	○ 「社会生活に生かす」	10
	○ 「参考資料」	
	「日本文学名作集」	4
	「学習用語辞典」等	14
	「二年生で学ぶ漢字字典」等	30
	○ 「読み方を学ぼう一覧」	折込 (5)
巻末資料の示し方	内 容 (第3学年)	ページ数
文法のまとめ	○ 「文法のまとめ」	12
	「三年間の文法の総まとめ」	
読書の広場	○ 「小さな図書館」	6
	○ 「高瀬舟」等 5編	35
資料編	○ 「情報を活用する」	8
	○ 「古典芸能に親しむ」	8
	○ 「社会生活に生かす」	10
	○ 「参考資料」	
	「日本文学名作集」	4
	「学習用語辞典」他	14
	「三年生で学ぶ漢字字典」等	30
	○ 「『読み方を学ぼう』一覧」	折込 (5)

☆ 「日本文学名作集」は、第1学年は口語訳が書いてある。学年が上がるにつれての掲載数が増えている。

☆ 「学習用語辞典」は、全学年同じ内容である。

☆ ページ数 第1学年 (130) 第2学年 (128) 第3学年 (132)

教出	【巻末資料の示し方】		
	○ 「言葉と文法（解説編）」「言葉の自習室」「漢字」として、全学年に示している。		
	巻末資料の示し方	内 容（第1学年）	ページ数
	言葉と文法 （解説編）	○ 「言葉（解説）」	12
		○ 「文法（解説）」	13
	言葉の自習室	○ 読書（「銀のしずく降る降る」等 4編）	19
		○ 「伝統芸能へのいざない 落語」	1
		○ 「小倉百人一首」等	5
		○ 「アイディアの出し方」	4
		○ 「学習に必要な用語」	2
		○ 「理解に役立つ言葉」 「表現に役立つ言葉」	折込（4）
	漢字	○ 「一年生で学習した漢字」等	28
	巻末資料の示し方	内 容（第2学年）	ページ数
	言葉と文法 （解説編）	○ 「言葉（解説）」	10
		○ 「文法（解説）」	19
	言葉の自習室	○ 読書（「有給の自然」等 4編）	12
		○ 「レポートの書き方」「近代文学史年表」等	6
		○ 「伝統芸能へのいざない 歌舞伎」	2
		○ 「学習に必要な用語」	2
		○ 「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」	折込（4）
	漢字	○ 「二年生で学習した漢字」等	29
	巻末資料の示し方	内 容（第3学年）	ページ数
	言葉と文法 （解説編）	○ 「言葉（解説）」	9
		○ 「文法（解説）」	16
	言葉の自習室	○ 読書（「素顔同盟」等 4編）	14
		○ 「古典文学の名作」等	4
		○ 「伝統芸能へのいざない 狂言」	1
		○ 「模擬面接をしてみよう」等	2
		○ 「学習に必要な用語」	2
		○ 「理解に役立つ言葉」 「表現に役立つ言葉」	折込（4）
	漢字	○ 「二年生で学習した漢字」等	26
	☆ 「学習に必要な用語」（索引）がある。		
	☆ ページ数 第1学年（88） 第2学年（84） 第3学年（78）		

光村	【巻末表現の示し方】		
	○ 「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」として、全学年に示している。		
	巻末資料の示し方	内 容 (第1学年)	ページ数
	文法・漢字・ 振り返り	○ 「文法」	17
		○ 「漢字 小学校六年生で学習した漢字」等	5
		○ 「学習を振り返ろう」	3
	学習を広げる	○ 「学習の窓」「思考のレッスン」等一覧	4+折込 (4)
		○ 資料（「発想を広げる」等）	6
		○ 資料（「坊っちゃん」等 4編）	24
		○ 資料（「一年生で学習した漢字」等）	31
		○ 資料（「索引 学習のための用語一覧」）	2
	巻末資料の示し方	内 容 (第2学年)	ページ数
	文法・漢字・ 振り返り	○ 「文法」	19
		○ 「漢字 小学校六年生で学習した漢字」等	5
		○ 「学習を振り返ろう」	3
	学習を広げる	○ 「学習の窓」「思考のレッスン」等一覧	4+折込 (4)
		○ 資料（「発想を広げる」等）	6
		○ 資料（「形」等 4編）	24
		○ 資料（「二年生で学習した漢字」等）	31
		○ 資料（「索引 学習のための用語一覧」）	2
	巻末資料の示し方	内 容 (第3学年)	ページ数
	文法・漢字・ 振り返り	○ 「文法」	13
		○ 「漢字 小学校六年生で学習した漢字」等	2
		○ 「学習を振り返ろう」	6
	学習を広げる	○ 「学習の窓」「思考のレッスン」等一覧	4+折込 (4)
		○ 資料（「発想を広げる」等）	6
		○ 資料（「高瀬舟」等 4編）	44
		○ 資料（「三年生で学習した漢字」等）	27
		○ 資料（「索引 学習のための用語一覧」）	2
	☆ 「学習を広げる」では、生徒が学習の目的を明確にして活用できるよう、左側に タグ（7項目）がついている。		
	☆ ページ数 第1学年（96） 第2学年（98） 第3学年（108）		

【国語】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑩考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫
方 法	○単元名, 例示されているテーマ・議題, 言語活動例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>〔話すこと・聞くこと〕</p> <p>第1学年</p> <p>【単元名】</p> <p>○ 「話を聞いて質問しよう」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 自己紹介</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ インタビュー（相手の話を受け止め、引き出す）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人のグループ ・ メモを取ったり、質問したりしながら、話の内容を捉え、考えをまとめる。 ・ インタビューした相手のことをほかのグループに紹介する。 <p>【単元名】</p> <p>○ 「中心を明確にして話そう 『似ている言葉』スピーチ」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「あふれる」と「こぼれる」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ スピーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～6人のグループ ・ 話の中心を明確にし、事実と考えとの関係に注意して、構成を考える。 ・ 聞き手の反応を見ながら、分かりやすい話し合いを工夫する。 <p>【単元名】</p> <p>○ 「話し合いで理解を深めよう グループディスカッション」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「自分たちの学校の良さ」他</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ グループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人程度のグループ ・ お互いの体験や考えを出し合って整理する。 ・ 話し合いの展開に注意し、お互いの発言を結びつけて、考えをまとめる。 ・ グループごとに発表する。
	<p>第2学年</p> <p>【単元名】</p> <p>○ 「考えを比べながら聞こう」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「七十五歳以上の高齢者の運転免許証返納」他</p>

	<p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えと比べながら聞く。(相手の立場を踏まえ、考えを深める) <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人程度のグループ ・ 相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる。 <p>【単元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「説得力のある提案をしよう プレゼンテーション」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ブックカフェを開いて、学校図書館に親しむ機会を作ろう」他 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プレゼンテーションをする <ul style="list-style-type: none"> ・ 4～6人のグループ ・ 現在の状況の問題点を解決するための提案を決める。 ・ 聞き手に納得してもらうために、説得力のある構成を考える。 ・ 資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。 <p>【単元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いで問題を検討しよう リンクマップによる話し合い」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「救急車を有料化にすべきである」他 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合い(質問する・反論する) <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人程度のグループ ・ 多様な立場や意見を想定して、テーマについてのメリット・デメリットを出し合う。 ・ お互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す。 <p>第3学年</p> <p>【単元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「評価しながら聞こう」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎県の町役場の方のスピーチ <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いで評価の観点を見つける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げる。 <p>【単元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「場面に応じて話そう」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「海岸清掃」他 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 条件スピーチ <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人程度のグループ ・ 自分の考えを明確にし、相手や目的に応じた話の内容や構成を工夫する。
--	--

東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場の状況に応じて、自分の思いや考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 ・ スピーチを発表し、感想を交換する。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「話し合いで意見をまとめよう 合意形成を目指す話し合い」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「地域をよくするために自分たちができること」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 話し合いで合意を形成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6人程度のグループ ・ 自分たちが取り組むことを想定して各自で提案内容を検討する。 ・ 進行の仕方を工夫したり、お互いの意見を生かしたりして話し合い、合意を形成する。 <p>☆ 例示されているテーマや議題として、学校や生活などの身近なものから、地域、社会に関するものを複数示している。</p> <p>☆ 考えを伝えるなどして話し合う活動のために、話し合いの活動の流れや話し合いの進め方の例を示している。</p> <p>☆ 単元の始めに「学びの扉」として、学習の必要性をマンガで示しており、巻末の「学びをささえる言葉の力」とリンクできるようになっている。(2单元程度)</p> <p>☆ 学習の流れを最初のページに示している。</p> <p>☆ 「言葉の力」として学習のポイントを示している。</p>
三省堂	<p>〔話すこと・聞くこと〕</p> <p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 『『竜』のサブタイトルを考えよう』</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 質問・意見・話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8人のグループ ・ 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解し、活用する。 ・ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p>
	<p>○ 「おれにしたい偉人『手塚治虫』」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4, 5人程度のグループ ・ 日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫

三省堂	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「情報 複数の情報を関連づけて考えをまとめる」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「地域の人々に防災意識を高めてもらうために」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見と根拠などの関係に注意し、互いの発言を結びつけながら話し合い、考えをまとめる。 ・ 原因と結果、意見と根拠などの関係に注意しながら、文章などを読んで理解したことをもとに自分の考えをもつ。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「読書活動 ブッククラブ」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「銀河鉄道の夜」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数人のグループ ・ テーマに沿って選んだ本をグループで読み、選んだ内容や感想などを交流しながら読み進める。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「グループ新聞 一年間の自分とクラスを振り返って」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 中学校に入学してから今までに、自分やクラスに起こったできごと</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 取材・編集会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4, 5人のグループ ・ 取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりして、考えをまとめる。 ・ 読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「おいしいチャーハンの作り方を知るなら本がよいか動画がよいか」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8人一組 4人が話し合う間、残り4人は観察
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。 ・ 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。 <p>【単元名】</p> <p>○ 「プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「日本の観光名所」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 説明・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4, 5人のグループ ・ 社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ・ 話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。
三省堂	<p>【単元名】</p> <p>○ 「情報 複数の情報を関連づけて考えをまとめる」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「互いに支え合う共生社会をつくるために」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人のグループ ・ 意見と根拠などの関連に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。 ・ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。 <p>【単元名】</p> <p>○ 「読書活動 ビブリオバトル」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ なし</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「人を通して本を知る、本を通して人を知る」を合い言葉にして、全国各地で行われている書評合戦ゲームを行う。 <p>【単元名】</p> <p>○ 「情報誌 地域の魅力を振り返って」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 情報誌</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 取材・編集会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人程度のグループ（編集部）

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。(ブレーンストーミング) ・ 地域の特徴などについて、取材や調査まで集めた情報を、効果的になるように工 夫して文章にまとめる。 <p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「クラスの旗のデザインを決めよう」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8人一組 4人が話し合う間、残り4人は観察 ・ 話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。 ・ 話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「パブリックスピーキング 状況に応じて話す力を養う」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「私たちの住む町 魅力発見ー美しい星空」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 提案・主張</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活の中から題材を探し、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、 話の構成を工夫する。 ・ 自分の考えがわかりやすく伝わるように、状況に応じて表現を工夫する。 ・ グループやクラスでパブリックスピーキングをする。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「情報 複数の情報を関連づけて考えをまとめる」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「情報と適切に関わって生きるために」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体と抽象など情報と情報との関係に注意しながら、互いの発言を生かして話し 合う。 ・ 情報の信頼性の確かめ方を理解して情報を活用し、自分の考えを広げたり深めたり する。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「読書活動 ブックトーク」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「友情に関する本」他</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 提案</p>
-----	---

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマにそって数冊の本を選び、順番に、聞き手が興味をもってくれるように紹介する。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「名言集 中学校生活を振り返って」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉のビタミン～ここ一番で元氣になりたいときに～」 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取材・編集会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ 話し合いの仕方を工夫して集めた材料を整理し、考えを広げたり深めたりする。 ・ 表現の仕方を考え、自分の考えがわかりやすく伝わるように、文章全体を整える。 <p>☆ 例示されているテーマや議題として、学校や生活などの身近なものから、地域、社会に関するものを示している。</p> <p>☆ 考えを伝えるなどして話し合う活動のために、話し合いをつないだり深めたりするための、「思考の方法」や表現例を示している。</p> <p>☆ 各学年3つの单元については、最初のページに「学習の流れ」を示している。</p> <p>☆ 最後のページに、单元で学習したことを生かす場面等について記載している。</p>
教出	<p>〔話すこと・聞くこと〕</p> <p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「お気に入りの一品を紹介する」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ハンカチ <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペア ・ 伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「内容を整理して説明する」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「未来の自分がどうありたいか」 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を解決するために、参考となる情報と結びつける。 ・ 聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。 ・ 相手の反応を見ながら、話す内容を工夫して伝える。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「持続可能な未来を創るために」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p>

教出	<p>○ 「人の暮らし方を考える」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「調べた内容を聞く」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「世界を幸せにするために必要なこと」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ 一つのテーマから、グループごとに担当する具体的な課題を決める。 ・ 自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ・ 相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容をとらえる。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「発言を結びつけて話し合う」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 『優しさ』の定義</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ グループごとに意味を定義する言葉を決める。 ・ 話題を意識して話し合い、発言を結びつける。 ・ いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「子どもの権利（みちしるべ）」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ なし</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文「子どもの権利」の学習後、「筆者の主張を踏まえ、知識を学ぶことや教育を受ける権利」について考えたことを話し合う。 <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「質問する力をつける」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「自分の好きなもの」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3, 4人程度のグループ
----	---

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「説得力のある提案をする」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害への対処法」 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話の構成を効果的に組み立てて話す。 ・ 根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「観点を明確にして伝える」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「空き家の増加」 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ・ 図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「持続可能な未来を創るために」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「不平等のない社会を考える」 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明・提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな資料から課題を共有し、考えを持つ。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「相違点を明確にして聞く」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「絶滅の危機にあるウミガメの保護活動」 <p>【言語活動例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 質問 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ 論理の展開などに注意しながら聞く。 ・ 話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。 <p>【单元名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「よりよい結論を導く討論をする」 <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「『書店へのAIの導入』について」 <p>【言語活動例】</p>
-----------	--

<p>教出</p>	<p>○ 討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ 結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ・ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 <p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「一言でまとめ一言から広げる」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 自分の最近のできごとや体験</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3, 4人程度のグループ ・ 一人が話した体験を他のメンバーが一言でまとめる。 ・ 次に話す人は、その言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考えて話す。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「構成を考えて主張をまとめる」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「優先席の是非」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ スピーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ・ 自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「表現の工夫を評価してスピーチをする」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「中学校生活で学んだこと」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ スピーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の主張が成り立つ条件を限定し、効果的に伝える方法を考える。 ・ 相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ・ 場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「持続可能な未来を創るために」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「人間の生命・存在を考える」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。 <p>【单元名】</p>
-----------	---

<p>教出</p>	<p>○ 『対話力』とは何か 【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 地球規模の環境問題の解決策 【言語活動例】</p> <p>○ 対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬国際環境会議を開く ・ 問題点や課題を明確にし、多数決によらない解決方法で環境問題についての解決策を提言する。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「意見を共有しながら話し合う」 【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」 【言語活動例】</p> <p>○ 討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ 相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。 ・ 話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。 <p>☆ 例示されているテーマや議題として、学校や生活などの身近なものから、地域、社会に関するものを示している。</p> <p>☆ 考えを伝えるなどして話し合う活動のために、3つの単元に「学びナビ」として、話し合いの活動のポイントを示している。また、教材の終わりに「学びを生かそう」として、他教科や生活の中での活用について示している。(第2学年は4单元)</p> <p>☆ 3学年とも「持続可能な未来を創るために」という单元を設けている。</p>
<p>光村</p>	<p>〔話すこと・聞くこと〕</p> <p>第1学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「声を届ける」 【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ なし 【言語活動例】</p> <p>○ 発表（基本）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人一組 ・ 交代で声を届ける練習をする。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「情報を的確に届ける」 【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 放送委員会へのお知らせ 【言語活動例】</p> <p>○ 聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要点を押さえて聞き、効果的にメモを取る。

【单元名】

- 「話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する」

【例示されているテーマ・議題】

- 写真をとること

【言語活動例】

- 紹介（スピーチ）
 - ・ 声の大きさや速さなど、話し方を意識して話す。
 - ・ 日常生活の中から話題を決め、伝えたいことを明確にして話の構成を考える。

【单元名】

- 「聞き上手になろう 質問で話を引き出す」

【例示されているテーマ・議題】

- 「夏休みの一番の思い出」

【言語活動例】

- 対話・質問
 - ・ 二人一組
 - ・ 音声の働きや仕組みを意識して話す。
 - ・ 聞いたことを基に考えをまとめ、質問のしかたを工夫して聞く。

【单元名】

- 「話し合いの展開を捉える」

【例示されているテーマ・議題】

- 「文化祭の学級展示」

【言語活動例】

- 話し合い
 - ・ 話し合いの目的を見失うことなく、話題や流れを捉えて議論する。

【单元名】

- 「話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする」

【例示されているテーマ・議題】

- 「よい話し合いにするための三か条」

【言語活動例】

- 話し合い（グループ・ディスカッション）
 - ・ グループ
 - ・ 意見と根拠を明確にして話し合う。
 - ・ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめる。

【单元名】

- 「一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する」

【例示されているテーマ・議題】

- 「比喩で広がる言葉の世界」

【言語活動例】

- 発表

光村	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループの中で発表 ・ 一年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理する。 ・ 聞き手の反応に注意しながら話す。 <p>第2学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「問いを立てながら聞く」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 学級会 「学校図書館の利用者を増やすために」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案の要点をメモしながら聞く。 ・ 意見とその根拠について、疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞く。 ・ 根拠の客観性や意見と根拠の結び付きを確かめる。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「ALTのマシュー先生に、町の散策コースを提案」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 説明・提案（プレゼンテーション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ 言葉には、相手の行動を促す働きがあることを知る。 ・ 話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「今、夢中になっていること」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 対話・質問（インタビュー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3, 4人のグループで、話し手、聞き手、聴衆を決め順に交代していく。 ・ 言葉には、相手の行動を促す働きがあることを知る。 ・ 話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、質問する。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「異なる立場から考える」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「中学生にスマートフォンは必要か」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ情報を基に、二つの異なる立場から考える練習をする。
----	--

光村	<p>【单元名】</p> <p>○ 「立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「全ての中学生は、ボランティアをすべきである」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 討論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ（司会1名，賛成・反対の各立場2，3名） ・ 立場を明確にして，適切な根拠とともに意見を述べる。 ・ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い，壁新聞を作る」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「国語を学ぶ意義『印象的に伝える言葉を学べる』」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ ・ 一年間の学びを振り返り，国語を学ぶ意義を考える。 ・ 読み手のことを考え，構成や表現を工夫し，わかりやすく情報を伝える。
	<p>第3学年</p> <p>【单元名】</p> <p>○ 「評価しながら聞く」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「ペットを飼うことを人にすすめるか」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えと比較したり，内容や表現のしかたなどを評価したりしながら聞く。
	<p>【单元名】</p> <p>○ 「説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「なんとかしたい。→海にプラスチックごみが多い。」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 主張・提案（スピーチ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠となる情報の信頼性を確かめる。 ・ 社会生活の中から話題を決め，相手を説得できるように，話の構成を工夫する。
	<p>【单元名】</p> <p>○ 「聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ なし</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 対話・質問（対談）</p>

光村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し手（1人）、聞き手（1人）、聴衆（1～3人）の3～5人一組 ・ 相手や場に応じた適切な言葉遣いをする。 ・ 相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出す。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「話し合いを効果的に進める」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「卒業文集のテーマの設定について」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いを効果的に進めるための注意点を考える。 ・ 他者の発言や話し合いの展開を捉えながら参加するための工夫を学ぶ。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「お年寄りとの交流を深めるために私たちにできること」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5, 6人のグループ ・ 複数の情報や発言を結びつけて考える。 ・ 立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。 <p>【单元名】</p> <p>○ 「三年間の歩みを振り返ろう」</p> <p>【例示されているテーマ・議題】</p> <p>○ 「三年間の歩み 『言葉』でたどる私の学び」</p> <p>【言語活動例】</p> <p>○ 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三年間の学びを振り返り、テーマを決める。 ・ 場の状況によって言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。 <p>☆ 例示されているテーマとして、学校や生活などの身近なものを中心に示している。</p> <p>☆ 考えを伝えるなどして話し合う活動のために、話し合いをつないだり深めたりするための、話し合いの進め方の例を示している。</p> <p>☆ 各学年とも、3つの単元に「生かす」として、活用する既習事項を示している。</p> <p>☆ 「学習の窓」として、活動する際のポイントを記載している。</p> <p>☆ 3学年とも最後の単元に、国語の学びを振り返る学習活動を設定している。</p>
----	---

令和2年 7 月 28 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 書 写

代表者 呉市立阿賀 中学校

氏名 坂井 峰子

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【書写】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①単元の目標の示し方
方 法	○単元ごとの目標の示し方と目標の数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>※（ ）は、単元の学習後に、深めたり広げたりするために加えられた学習の目標数。</p> <p>第1学年</p> <p>【単元】楷書の書き方を確かめよう</p> <p>【毛筆の教材】「大志」、仮名、俳句</p> <p>【目標例】「点画の書き方と字形の整え方を理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】4（1）</p> <p>【単元】行書の書き方を学ぼう</p> <p>【毛筆の教材】「二」「十」「口」「人」「日光」「大空」</p> <p>【目標例】「行書を書くときの特徴的な動きを理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】3（1）</p> <p>第2学年</p> <p>【単元】行書の書き方を学ぼう</p> <p>【毛筆の教材】「桜色」「若緑」</p> <p>【目標例】「点画の省略について、書く動きと省略の仕方を理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】2</p> <p>【単元】行書と仮名を交えて書こう</p> <p>【毛筆の教材】「豊かな自然」、仮名、俳句</p> <p>【目標例】「行書と平仮名を調和させるときに気をつけることを理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】3（1）</p> <p>【単元】楷書と行書を選んで書こう</p> <p>【毛筆の教材】なし</p> <p>【目標例】「どのような観点で楷書と行書を使い分けるか理解しよう。」</p> <p>【目標の数】2（1）</p> <p>第3学年</p> <p>【単元】効果的に文字を書こう</p> <p>【毛筆の教材】なし</p> <p>【目標例】「身の回りの文字の目的と、それに応じた工夫を理解しよう。」</p> <p>【目標の数】4（1）</p> <p>☆</p> <p>【目標の示し方】小単元ごとに「目標」と吹き出しの形で明記して目標を示している。</p> <p>【目標総数】第1学年 7（2） 第2学年 7（1） 第3学年 4（1）</p>

三省堂	<p>※（ ）は、単元の学習後に、深めたり広げたりするために加えられた学習の目標数。</p> <p>第1学年</p> <p>【单元】楷書</p> <p>【毛筆の教材】「天地」</p> <p>【目標例】「字形の整え方と楷書の点画の筆使いを理解して書くことができる。」</p> <p>【目標の数】1</p> <p>【单元】楷書と仮名</p> <p>【毛筆の教材】仮名、俳句</p> <p>【目標例】「仮名の字形と筆使いを確かめて書くことができる。」</p> <p>【目標の数】2</p> <p>【单元】行書</p> <p>【毛筆の教材】「名月」「元気」「探究」</p> <p>【目標例】「行書の特徴を理解できる。」</p> <p>【目標の数】4（1）</p> <p>第2学年</p> <p>【单元】行書</p> <p>【毛筆の教材】「親和」「紅花」</p> <p>【目標例】「点画の省略を理解して書くことができる。」</p> <p>【目標の数】2</p> <p>【单元】行書と仮名</p> <p>【毛筆の教材】「豊かな実り」、仮名</p> <p>【目標例】「行書と仮名の調和を意識して書くことができる。」</p> <p>【目標の数】2</p> <p>【单元】楷書と行書</p> <p>【毛筆の教材】なし</p> <p>【目標例】「目的や必要に応じて、書体を選択して書くことができる。」</p> <p>【目標の数】1（1）</p> <p>第3学年</p> <p>【单元】文字文化の豊かさ</p> <p>【毛筆の教材】なし</p> <p>【目標例】「文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書くことの必要性について考えることができる。」</p> <p>【目標の数】1（1）</p> <p>☆</p> <p>【目標の示し方】小单元ごとに旗のマークを提示し目標を示している。</p> <p>【目標総数】第1学年 7（1） 第2学年 6（2） 第3学年 1（1）</p>
-----	--

教出	<p>※（ ）は、単元の学習後に、深めたり広げたりするために加えられた学習の目標数。</p> <p>第1学年</p> <p>【単元】楷書で書こう</p> <p>【毛筆の教材】「天地」「成功」</p> <p>【目標例】「基本的な筆の使い方を理解し、書いてみよう。」</p> <p>【目標の数】2（1）</p> <p>【単元】楷書と仮名を調和させて書こう</p> <p>【毛筆の教材】「いろは歌」、仮名</p> <p>【目標例】「筆脈と配列を理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】2（3）</p> <p>【単元】行書で書いてみよう</p> <p>【毛筆の教材】「和」「大」「大木」「栄光」「平和」</p> <p>【目標例】「楷書と行書の違いを理解しよう。」</p> <p>【目標の数】4（1）</p> <p>第2学年</p> <p>【単元】行書で書こう</p> <p>【毛筆の教材】「初志」「深緑」</p> <p>【目標例】「点画の省略を理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】2（1）</p> <p>【単元】行書と仮名を調和させて書いてみよう</p> <p>【毛筆の教材】「喜びの声」、仮名、詩、論語</p> <p>【目標例】「点画の連続と配列を理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】4（1）</p> <p>【単元】学習活動や日常生活に生かして書こう</p> <p>【毛筆の教材】なし</p> <p>【目標例】「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう。」</p> <p>【目標の数】1（1）</p> <p>第3学年</p> <p>【単元】行書を深めよう</p> <p>【毛筆の教材】「創造」</p> <p>【目標例】「点画の変化と連続を理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】1</p> <p>【単元】行書と仮名を調和させて書こう</p> <p>【毛筆の教材】「美しい自然」、俳句（4句）</p> <p>【目標例】「これまでの学習を生かして、点画の連続と配列を理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】1（1）</p>
----	---

教出	<p>【単元】身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう</p> <p>【毛筆の教材】なし</p> <p>【目標例】「身のまわりで見かける、文字の表現効果について考えてみよう。」</p> <p>【目標の数】2</p> <p>☆</p> <p>【目標の示し方】小单元ごとに旗のマークとともに「目標」と明記して目標を示している。</p> <p>【目標総数】第1学年 8（5） 第2学年 7（3） 第3学年 4（1）</p>
光村	<p>※（ ）は、単元の学習後に、深めたり広げたりするために加えられた学習の目標数。</p> <p>第1学年</p> <p>【単元】読みやすく書くための楷書</p> <p>【毛筆の教材】「天地」「春風」、仮名、俳句</p> <p>【目標例】「漢字を構成する点画の種類と、その筆使いを確かめて書こう。」</p> <p>【目標の数】3（1）</p> <p>【単元】読みやすく速く書くための行書</p> <p>【毛筆の教材】「一」「二」「口」「大」「大木」、北西、月光</p> <p>【目標例】「行書の特徴を知り、筆使いを理解して書こう。」</p> <p>【目標の数】2</p> <p>第2学年</p> <p>【単元】読みやすく速く書くための行書</p> <p>【毛筆の教材】「雲海」「紅花」、仮名、「豊かな心」、「深まる秋」</p> <p>【目標例】「点画の省略を理解して、行書で書こう。」</p> <p>【目標の数】4（2）</p> <p>【単元】文字を使い分ける</p> <p>【毛筆の教材】なし</p> <p>【目標例】「場面に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解しよう。」</p> <p>【目標の数】1</p> <p>第3学年</p> <p>【単元】文字を使い分ける</p> <p>【毛筆の教材】「探究」、「輝ける未来」</p> <p>【目標例】「目的に応じて、文字を使い分ける必要があることを理解しよう。」</p> <p>【目標の数】2（1）</p> <p>☆</p> <p>【目標の示し方】小单元ごとに「目標」と明記して目標を示している。</p> <p>【目標総数】第1学年 5（1） 第2学年 5（2） 第3学年 2（1）</p>

【書写】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②姿勢, 執筆法, 用具の扱いの示し方
方 法	○正しい姿勢や執筆法, 用具の扱い方の写真・イラスト等

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【提示】第1学年扉絵の次ページから「姿勢と筆記具の持ち方」として提示している。</p> <p>【ページ数】 2</p> <p>【写真】</p> <p>○文字を整えて書くための姿勢, 確認のチェック欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の姿勢 (全身を横から見たもの 1枚) ・毛筆, 硬筆の姿勢 (上半身を真正面から見たもの1枚ずつ) <p>○用具の名前・置き方</p> <p>墨液, 墨, 硯, 布巾, 大筆, 小筆, 鉛筆, 文鎮, 半紙, 下敷き, 教科書</p> <p>○筆の名称 (軸, 穂, 穂先)</p> <p>○墨のすり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まっすぐ立ててする方法 (手首のみ 1枚) ・傾けてする方法 (手首のみ 1枚) ・円形, 前後 <p>○書きやすい鉛筆の持ち方 (手首のみ 2枚), 確認のチェック欄</p> <p>○書きやすい筆の持ち方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大筆: 双鉤法 (手首の部分 1枚) 単鉤法 (手首のみ 1枚) 懸腕法 (手首の部分 1枚) ・小筆: 提腕法 (手首の部分 1枚) 枕腕法 (手首の部分 1枚) <p>○後かたづけ (大筆, 小筆, 硯) 手首のみ4枚</p> <p>【イラスト】</p> <p>○墨のすり方 (硯 2枚)</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年に学習する内容として提示している。 ・「文字を整えて書くための姿勢」, 「書きやすい鉛筆の持ち方」の写真の提示部分に確認項目とチェック欄がある。 ・毛筆は, 全身と上半身, 硬筆の姿勢を上半身で示した写真がある。 ・左利きについての記述がある。 ・提示部分にDマーク (動画でチェック) がついている。
三省堂	<p>【提示】「本編」に入る前の「基礎編」より「学習のはじめに」として提示している。</p> <p>【ページ数】 5</p> <p>【写真】</p> <p>○姿勢と構え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の姿勢 懸腕法 (全身を斜めから見たもの 1枚) (全身を横から見たもの 1枚) ・大筆の持ち方

三省堂	<p> 双鉤法（手首の部分 1枚） 単鉤法（手首の部分 1枚） ・小筆の持ち方・構え方 提腕法（手首の部分 1枚） 枕腕法（手首の部分 1枚） ・硬筆の姿勢と構え方（全身を横から見たもの 1枚） ・鉛筆の持ち方（正しい持ち方 手首の部分 2枚） （誤った持ち方 手首の部分 3枚） ○用具の扱い方 ・用具の準備 （墨液、墨、硯、下敷き、大筆、小筆、文鎮、半紙、教科書） ・墨のすり方（まっすぐ立ててする方法 手首の部分 1枚） （傾けてする方法 手首の部分 1枚） 楕円形、前後 ・用具の片づけ方（大筆、小筆、硯） 手首の部分 4枚） ・筆の名称（軸、穂、腹、穂先） 【イラスト】筆の運び方（筆圧・穂先・軸の傾き・腕の動き）と「筆脈を意識しよう」等 ☆ ・「姿勢と構え方」の写真にポイントとなることを言葉で示している。 ・学年ごとの「本編」に入る前の「基礎編」として学習のはじめに確かめることとして提示している。 ・「大筆の持ち方」や「小筆の持ち方・構え方」の写真4枚で1ページ分をとってある。 ・筆の運び方（筆圧、穂先、軸の傾き、腕の動き）と「筆脈を意識しよう」についての説明が含まれている。 ・毛筆のページだけでなく、硬筆のみのページを設け、姿勢を示す全身の写真を示している。 ・鉛筆の持ち方の悪い例を写真で示している。 ・QRコードは「学習のはじめに」のページのみついている。 </p>
教出	<p> 【提示】目次の後、1学年の扉絵の前ページに「姿勢と用具の使い方」として提示している。 【ページ数】2 【写真】 ○基本の姿勢 ・毛筆の姿勢 懸腕法（全身を横から見たもの 1枚）、確認のチェック欄「振り返ろう」 ○毛筆の持ち方 大筆の持ち方 双鉤法（手首のみ 1枚） 単鉤法（手首のみ 1枚） 小筆の持ち方とかまえ方 枕腕法（手首の部分 1枚） 提腕法（手首の部分 1枚） </p>

教出	<p>○硬筆の持ち方 鉛筆の持ち方 (手首のみ 2枚) ボールペンの持ち方 (手首のみ 1枚)</p> <p>○用具の置き方 (墨液, 墨, 硯, 下敷き, 大筆, 小筆, 文鎮, 半紙, 教科書)</p> <p>○墨のすり方 (まっすぐ立ててする方法 手首の部分 1枚) (傾けてする方法 手首の部分 1枚) 楕円形, 前後</p> <p>○後片付け (筆, 硯 手首の部分 3枚) ・筆の名称 (軸, 腰, 腹, 穂, 穂先)</p> <p>☆ ・学年ごとの「本編」に入る前に「姿勢と用具の使い方」として提示している。 ・「基本の姿勢」の写真にポイントとなることを言葉で示してあり, 「振り返ろう」で確かめるためのチェック欄がある。 ・毛筆のみ姿勢を全身で示した写真があり, 硬筆は手首の部分のみである。 ・毛筆の持ち方, 硬筆の持ち方, 墨のすり方, 後片付けの写真を12枚で1ページ分とっている。 ・ボールペンの持ち方の写真を1枚示している。</p>
光村	<p>【提示】 目次の後, 「学習のはじめに」で「姿勢・筆記具の持ち方」として提示している。</p> <p>【ページ数】 2</p> <p>【写真】</p> <p>○書くときの姿勢, 確認のチェック欄 ・毛筆の姿勢 (全身を横から見たもの 1枚) (上半身を正面から見たもの 1枚)</p> <p>○筆記具の持ち方 ・毛筆の持ち方 大筆: 双鉤法 (手首の部分 1枚), 単鉤法 (手首の部分 1枚) 小筆: 提腕法 (手首の部分 1枚), 枕腕法 (手首の部分 1枚) ・硬筆の持ち方 鉛筆の持ち方 (手首の部分 2枚)</p> <p>○用具の準備 (墨液, 墨, 硯, 下敷き, 大筆, 小筆, 文鎮, 半紙, 教科書, 鉛筆) ・筆の名称 (軸, 腰, 腹, 穂, 穂先)</p> <p>○用具の片付け (大筆, 小筆, 硯 手首の部分 4枚)</p> <p>☆ ・目次の後, 「学習のはじめに」で「本編」に入る前の「基礎編」として学習のはじめに確かめることとして提示している。 ・「書く時の姿勢」の写真の提示部分に確認項目とチェック欄がある。 ・毛筆のみ姿勢を全身で示した写真がある。 ・毛筆の持ち方の「大筆の持ち方」や「小筆の持ち方・構え方」の写真4枚で2/3ページ分をとってある。</p>

【書写】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	③見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	○学習過程の示し方と構成，示し方の特徴

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【学習過程の示し方と構成】</p> <p>○「書写の学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標 単元の目標を確かめて，学習の見通しを持つ。 ●見つけよう ふだん書いている硬筆の文字から，文字を整えて書くための「書写のかぎ」を見つけよう。 ●確かめよう 毛筆や硬筆で書いて，「書写のかぎ」を確かめよう。 ●生かそう 学習した「書写のかぎ」をほかの文字にも生かそう。 ●振り返って話そう 学習過程を振り返って，目標を達成できたか評価しよう。「書写のかぎ」や書写の用語を使って，学んだことを説明しよう。 ●生活に広げよう 学習したことを，教科の学習や日常生活に広げよう。 <p>【示し方の特徴】</p> <p>○巻頭の「書写で学ぶこと」では，3年間で，何を，どのように学び，学んだことがどのような場面で役立つかが書かれ，学習全体の見通しを示している。</p> <p>○「書写の学習の進め方」では，課題発見・解決の過程に基づいて，基本となる学習の流れとしてマークと言葉，サイクルになるよう示している。</p> <p>○「書写のかぎ」では，文字を正しく書くためのポイントが掲載され，毛筆教材の文字の左に，改めて「書写のかぎ」を示している。</p> <p>○「見つけよう」では，日常普段書いている硬筆文字から，その単元の課題について考えさせ，つかませようとしている。</p> <p>○小単元の「振り返って話そう」では，評価の観点を示し，「書写のかぎ」や書写の用語を使って学んだことを説明する活動を示している。</p> <p>○「生かそう」や「生活に広げよう」では，学んだことを他の文字や，日常生活の中で活かすための活動などを示している。</p> <p>○学年ごとの扉に，学習することの流れを一覧で示している。</p> <p>○「〇〇のまとめ」ごとに「書写テスト」を示している。</p>
三省堂	<p>【学習過程の示し方と構成】</p> <p>○「学習の流れ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①目標を確かめよう

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を確かめて学習の見通しをもつ。 ②書き方を学ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントをつかむ。 ③見つけよう・考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているか考える。 ④毛筆で書こう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントを意識して毛筆で書く。 ⑤学習を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・教材で学んだことを振り返る。 ⑥書いて身につけよう <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする。 ⑦自分の言葉でまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学んだことが実際に活用できているかを確認し、自分の言葉でまとめる。 <p>【示し方の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「この教科書で学ぶ皆さんへ」では、「社会生活に生きる書写の力」として、自分の文字をよりよくするための「単元の基本構成」を示している。 ○「学習の流れ」では、課題発見・解決の過程に基づいて、基本となる学習の流れをステップとなるようマークと言葉で示している。 ○「書き方を学ぼう」では、単元で学ぶことを項目ごとに区切り、今の学びを可視化して示している。 ○「書き方を学ぼう」を基に「見つけよう・考えよう」では、書き方のポイントが、文字のどこに使われているか・現れているか考えさせている。 ○「毛筆」で学んだ様々なことを、単元の最後に「硬筆」で確認・身につけさせるように示している。 ○単元末の「自分の言葉でまとめよう」では、学んだことが実際に活用できているかを、確認させ、「自分が学んだことを書き残そう」では、単元を通して学んだことを自分の言葉でまとめるように示している。 ○「やってみよう」では、一年間の学びを活かして活用できるように示されている。 ○本編の扉に「学習すること」を一覧で示している。
教出	<p>【学習過程の示し方と構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習の進め方」 <ul style="list-style-type: none"> ①目標 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標を確かめよう ・試し書き ②考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。 ③生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で学習したことを、硬筆で他の文字に生かして書こう。 ・まとめとして硬筆や毛筆で書き、試し書きと比べてみよう。 ④振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。 ⑤学習や日常生活に生かそう

教出	<p>【示し方の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「書写をとおして学んでいくこと」では、何を、どのように学び、身に付けた力がどのように広がるのかに沿って、身に付けたい力を具体的に示している。 ○「目的に合わせて書こう」では、書写の学びが日常生活にどのように生かされているのかを、項目立てて示している。 ○「学習の進め方」では、課題発見・解決の過程に基づいて、基本となる学習の流れで、基本となる学習の流れをマークや写真、言葉で示している。 ○「考えよう」では、課題を発見し、課題を解決していく学び方や話し合い活動を仕組むための課題を示している。 ○小単元の「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点に沿って「できた＝○」「もう少し＝△」で自己評価を記入するチェック欄を示している。 ○学年ごとの扉に学習することの一覧を示している。 ○巻末に「書写テストで確認」を示している。
光村	<p>【学習過程の示し方と構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習の進め方」 見通しをもって、学習・活動に取り組もう。 ①考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・課題について考えよう。 ・「学習の窓」で、文字の整え方を確かめよう。 ②確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方を確かめて、毛筆で書こう。 ③生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、生かして書こう。 ④学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できたか評価しよう。 ・「書写ブック」で練習しよう。 <p>【示し方の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「三年間の目標」を3つの文で示している。 ○「学習の進め方」では、課題発見・解決の過程に基づいて、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真と言葉で示している。 ○「考えよう」では、課題について考えたり話し合ったりする活動を示している。 ○「学習の窓」では、「考えよう」でとらえた課題についてのポイントを示している。 ○小単元の「学習を振り返る」では、評価の観点を示し、自己評価を記入するチェック欄を示している。 ○単元ごとの扉に学習することの一覧を示している。 ○「書写ブック」に「書写テストに挑戦しよう」を示している。

【書写】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	④単元・教材や資料等の配列
方 法	○総ページ数、毛筆教材数及び毛筆教材例、硬筆記入欄のページ数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【総ページ数】 44＋巻末折込1</p> <p>【毛筆教材数】 13</p> <p>【毛筆教材例】 「大志」「平仮名」「夏山の緑うつりし小窓かな」「二」「十」「口」「人」「日光」 「大空」「夢の実現」「温故知新」「美しい緑」「早春」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 19</p>
	<p>第2学年</p> <p>【総ページ数】 30＋巻末折込1</p> <p>【毛筆教材数】 9</p> <p>【毛筆教材例】 「桜色」「若緑」「豊かな自然」「行書に調和する平仮名」「草山に馬放ちけり秋の空」 「感謝する心」「信念を貫く」「最善を尽くす」「平和の祈り」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 12</p>
	<p>第3学年</p> <p>【総ページ数】 18＋巻末折込1</p> <p>【毛筆教材数】 5</p> <p>【毛筆教材例】 「希望に輝く春」「生命を尊ぶ」「不屈の精神」「梅の花咲く里」「栄光のかけ橋」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 1</p>
	<p>資料編等</p> <p>【総ページ数】 38＋巻末折込1</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 書写活用ブック2</p>

東書	<p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の基本である毛筆教材が 27 あり, そのうち第 1 学年 13, 第 2 学年 9, 第 3 学年 5 である。 ・毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄の総ページ数は 32 ある。書写活用ブックに 2 ページ記入欄がある。
三省堂	<p>第 1 学年</p> <p>【総ページ数】 36 + 巻末折込 1</p> <p>【毛筆教材数】 8</p> <p>【毛筆教材例】 「天地」「いろは歌（平仮名）」「暑き日を海に入れたり最上川」「名月」「元気」「探究」「日進月歩」「輝く生命」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 13</p> <p>第 2 学年</p> <p>【総ページ数】 22 + 巻末折込 1</p> <p>【毛筆教材数】 8</p> <p>【毛筆教材例】 「親和」「紅花」「豊かな実り」「いろは歌（行書に調和する仮名）」「燃ゆる思い」「大望を抱く」「温故知新」「平和の鐘」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 7</p> <p>第 3 学年</p> <p>【総ページ数】 9 + 巻末折込 1</p> <p>【毛筆教材数】 3</p> <p>【毛筆教材例】 「未知へと歩む」「旅立ちの時」「山光澄我心」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 なし</p> <p>資料編等</p> <p>【総ページ数】 47 + 巻末折込 1</p> <p>【毛筆教材数】 12</p> <p>【毛筆教材例】 「永久（楷書・行書）」「若枝（楷書・行書）」「諸行無常（楷書・行書）」「伸びる芽（楷</p>

三省堂	<p>書・行書)」「風の音を聞く (楷書・行書)」「だからもう迷わずに進めばいい栄光の架橋へと (楷書・行書)」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】</p> <p>なし</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の基本である毛筆教材は本編では 19 であり, 資料編に 12 の補充教材がある。 ・毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄の総ページ数は 20 ある。
教出	<p>第 1 学年</p> <p>【総ページ数】</p> <p>44+巻末折込 1</p> <p>【毛筆教材数】</p> <p>10</p> <p>【毛筆教材例】</p> <p>「天地」「成功」「いろは歌」「いろは歌 (平仮名)」「大」「大木」「栄光」「平和」「新たな決意」「世界遺産」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】</p> <p>12</p> <p>第 2 学年</p> <p>【総ページ数】</p> <p>32+巻末折込 1</p> <p>【毛筆教材数】</p> <p>9</p> <p>【毛筆教材例】</p> <p>「初志」「深緑」「喜びの声」「いろは歌 (行書に調和する仮名)」「尊いものそれは真直ぐにみつめた姿だ (八木重吉の詩)」「白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずただよふ (若山牧水の歌)」「学びて時に之を習ふ亦説ばしからずや (孔子の言葉)」「生命の尊重」「伝統の継承」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】</p> <p>11</p> <p>第 3 学年</p> <p>【総ページ数】</p> <p>13+巻末折込 1</p> <p>【毛筆教材数】</p> <p>7</p> <p>【毛筆教材例】</p> <p>「創造」「美しい自然」「五月雨をあつめて早し最上川 (松尾芭蕉の句)」「あかあかと日はつれなくも秋の風 (松尾芭蕉の句)」「夏草や兵どもが夢の跡 (松尾芭蕉の句)」「友好の精神」「真理の探究」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】</p> <p>3</p> <p>資料編等</p>

教出	<p>【総ページ数】 41＋巻末折込1</p> <p>【毛筆教材数】 13</p> <p>【毛筆教材例】 「出発」「実現」「広がる世界」「古典に学ぶ」「名作」「理想」「雲海」「開花」「有終の美」「旅立ちの朝」「よい言葉の一つは多くの本の一冊に勝る（ルナールの言葉）」「君がため春の野に出でて若菜つむわが衣手に雪は降りつつ（光孝天皇の歌）」「大根引き大根で道を教へけり（小林一茶の句）」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 なし</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の基本である毛筆教材が26あり、そのうち第1学年10、第2学年9、第3学年に7ある。資料編に13の補充教材がある。 ・毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄の総ページ数は26ある。
光村	<p>第1学年</p> <p>【総ページ数】 28＋巻末折込1＋書写ブック9</p> <p>【毛筆教材数】 15</p> <p>【毛筆教材例】 「天地」「春風」「いろは歌（平仮名）」「夏（の）夜（や）ち（ぎ）れ（ち）ぎ（れ）の（天）の（川）（正岡子規の句）」「一」「二」「口」「大」「大木」「北西」「月光」「不言実行（楷書・行書）」「文武両道」「将来の夢」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 16（書写ブック9を含む）</p> <p>第2学年</p> <p>【総ページ数】 25＋巻末折込1＋書写ブック8</p> <p>【毛筆教材数】 9</p> <p>【毛筆教材例】 「雲海」「紅花」「いろは歌（行書に調和する仮名）」「豊かな心」「深まる秋」「新たな目標（楷書・行書）」「大志を抱く（楷書・行書）」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 13（書写ブック8を含む）</p> <p>第3学年</p> <p>【総ページ数】 17＋巻末折込1＋書写ブック4</p> <p>【毛筆教材数】 6</p>

光村	<p>【毛筆教材例】 「探究」「輝ける未来」「旅立ちの春（楷書・行書）」「伝統を守る（楷書・行書）」</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 8（書写ブック4を含む）</p> <p>資料編等</p> <p>【総ページ数】 44 巻末折込含む＋書写ブック7</p> <p>【毛筆教材数】 なし</p> <p>【硬筆記入欄のページ数】 4</p> <p>*「書写ブック」「1～3年生」として2ページ,「2～3年生」として3ページある。</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写の基本である毛筆教材が30あり,そのうち第1学年15,第2学年9,第3学年に6ある。 ・毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄を別冊「書写ブック」でも示している。総ページ数37の硬筆記入欄がある。
----	---

【書写】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑤伝統と文化に関する内容の記述
方 法	○伝統的な言語文化に関する単元名等，ページ数及び内容の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【伝統的な言語文化に関する単元名等（ページ数）→内容の扱い】</p> <p>第1学年</p> <p>○楷書の書き方を確かめよう「仮名の書き方と字形」（2） →仮名の起こりと字源を扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「いろは歌」（1） →平安時代から伝わる「いろは歌」の使われ方を扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「文字の成り立ちと移り変わり」（2） →文字の変遷と5つの書体を扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「伝統的な用具・用材」（2） →文房四宝について扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「書き初めをしよう」（1） →新年に初めて文字を書く伝統的な行事である書き初めについて扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「書いて味わおう『竹取物語』」（1） →平安時代の古典作品である「竹取物語」を扱っている。</p> <p>第2学年</p> <p>○行書と仮名を交えて書こう「行書に調和する仮名」（3） →仮名の成り立ちを扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「文字と絵」（1） →江戸時代の出版物の中の「文字絵」について触れ，人々の生活に平仮名が浸透していたことを扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「手書き文字と活字」（2） →明朝体の始まりについて扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「書き初めをしよう」（1） →平安時代の貴族や武士が行っていた「吉書初」に由来する書き初めの広まり方について扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「書いて味わおう『平家物語』」（1） →鎌倉時代の古典作品である「平家物語」を扱っている。</p>

東書	<p>第3学年</p> <p>○効果的に文字を書こう「現代につながる文字の役割」(2) →時代ごとに文字が果たしてきた役割を扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「書き初めをしよう」(1) →書き初めと伝統行事の「どんど焼き」とのつながりを扱っている。</p> <p>○文字のいずみ「古典をもとに」(2) →中国や日本の古典作品の学び方を扱っている。(高等学校の学習内容)</p> <p>○文字のいずみ「書いて味わおう『おくのほそ道』」(1) →江戸時代の古典作品である「おくのほそ道」を扱っている。</p> <p>資料編等</p> <p>○文字のいずみ「二十四節気と季節の挨拶」(4) →日本人が大事にしてきた、季節と挨拶の言葉との関係を扱っている。</p> <p>○書くことを楽しむ「日本の文字文化、世界の文字文化」(1) →日本や世界の文字が趣味や芸術として広がっている様子を扱っている。</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の総ページ数は23ページ。第1学年9、第2学年8、第3学年6である。 ・「文房四宝」については、第1学年で「筆」「墨」「硯」「紙」の作り方を、それぞれ3つの工程で写真を示して説明している。伝統的な製法を続けている主な生産地をまとめて紹介している。 ・仮名の字源を示し、仮名の発生について説明し、文字が果たしてきた役割や現代とのつながりを扱っている。 ・「書き初め」と行事を関連させ、広まり方の説明がある。 ・高等学校「書道」の学び方の説明がある。
三省堂	<p>【伝統的な言語文化に関する単元名等(ページ数)→内容の扱い】</p> <p>第1学年</p> <p>○楷書と仮名「仮名の字形と筆使い」(2) →平仮名の発生と「いろは歌」を扱っている。</p> <p>○仮名の字形/文字の大きさと配列(1) →平安時代の古典作品である「竹取物語」を扱っている。</p> <p>○学びを広げる「文字の変遷」(2) →中国で生まれた漢字が長い時間をかけて変化していった様子と5つの書体を扱っている。</p> <p>第2学年</p> <p>○行書と仮名「行書に調和する仮名」(2) →仮名の成り立ちを扱っている。</p>

三省堂	<p>○行書と仮名の調和／行書に調和する仮名（２） →行書として、「いろは歌」と平安時代の古典作品である「枕草子」を扱っている。</p> <p>第３学年</p> <p>○文字文化の豊かさ「身のまわりの文字」（４） →文化として、文字の変遷を扱っている。「文字」の魅力について扱っている。</p> <p>○学びを広げる「書の古典」（１） →書聖と称される王羲之の作品とそれを臨書した光明皇后の作品を扱っている。（高等学校の学習内容）</p> <p>資料編等</p> <p>○書写の広場「文房四宝」（２） →毛筆道具と、進化する筆記具の変遷を扱っている。</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の総ページ数は１４ページ。第１学年５，第２学年４，第３学年５である。 ・「文房四宝」については、資料編で、様々な「筆」「紙」「墨」「硯」を写真で示しながら作り方を大まかに説明している。筆記用具の進化についても紹介している。 ・仮名の字源を示し、仮名の発生について説明している。 ・「王羲之」と「光明皇后」の作品を取り上げ、高等学校で学習する「臨書」の説明がある。
教出	<p>【伝統的な言語文化に関する単元名等（ページ数）→内容の扱い】</p> <p>第１学年</p> <p>○コラム「筆，墨，硯，紙について知ろう」（２） →文房四宝について扱っている。</p> <p>○楷書と仮名を調和させて書こう「楷書に調和する仮名『いろは歌』」（２） →仮名の成り立ちを扱っている。</p> <p>○楷書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く一行の中心」（２） →平安時代の古典作品である「竹取物語」を扱っている。</p> <p>○コラム「文字の変遷」（２） →漢字の起源から５つの書体を経て、平安時代の仮名成立に至ったことを扱っている。</p> <p>○行書で書いてみよう「行書学習のはじめに」（２） →行書の起源と平安時代の空海作品を扱っている。</p> <p>第２学年</p> <p>○コラム「あの人が残した文字」（２） →日本の歴史上の人物の書や手紙等を扱っている。</p> <p>○行書と仮名を調和させて書いてみよう「行書に調和する仮名『いろは歌』」</p>

	<p>「気持ちのつながりから文字のつながりへ」(2) →「いろは歌」について扱うとともに、古くから文字を続けて書く「連綿」も扱っている。(高等学校の学習内容)</p> <p>○行書と仮名を調和させて書いてみよう「文字の大きさと配列」(2) →詩や歌等を扱っている。</p> <p>○コラム「短冊と色紙」(1) →平安時代や江戸時代の「懐紙」「色紙」「短冊」を扱っている。 (高等学校の学習内容)</p> <p>○行書と仮名を調和させて書いてみよう「学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列」(4) →平安時代の古典作品である「枕草子」と鎌倉時代の古典作品である「平家物語」を扱っている。</p> <p>教出 ○コラム「日本建築と『書』」(2) →室町時代に成立した「書院造り」から始まる和室と「書」とのかかわりを扱っている。(高等学校の学習内容)</p> <p>○コラム「書の古典の鑑賞」(1) →中国唐代の4人の能書家の作品に触れ、書風を扱っている。 (高等学校の学習内容)</p> <p>第3学年 ○行書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く配列」(2) →江戸時代の古典作品である「おくのほそ道」を扱っている。</p> <p>資料編等 ○芸術としての書道(1) →平安時代、文字に美しさが見出されるようになったことを扱っている。 (高等学校の学習内容)</p> <p>☆ ・単元の総ページ数は27ページ。第1学年10、第2学年14、第3学年3である。 ・「文房四宝」については、第1学年で「筆」「墨」「硯」「紙」それぞれの材料と作り方を3つの工程で写真を示して説明している。用具ごとの主な生産地を紹介している。 ・「仮名の字源」を示し、仮名の発生について説明している。 ・発展学習として、高等学校での5つの学習内容に触れ、大まかに説明している。 ・歴史上の人物の文字を紹介している。</p>
光村	<p>【伝統的な言語文化に関する単元名等(ページ数)→内容の扱い】</p> <p>第1学年 ○読みやすく書くための楷書「楷書に調和する仮名」(2)</p>

光村	<p>→楷書として「いろは歌」を扱っている。</p> <p>○読みやすく書くための楷書「文字の大きさと配列」(2) →俳句を扱っている。</p> <p>○コラム「文字の歴史を探る」(2) →5つの書体と平安時代に平仮名・片仮名が成立した流れを扱っている。</p> <p>○季節のしおり1(2) →百人一首の和歌や正岡子規・小林一茶の俳句を扱っている。</p> <p>○書写ブック「名文をかいてみよう1」(2) →「いろは歌」や平安時代の古典作品「竹取物語」を扱っている。</p> <p>第2学年</p> <p>○読みやすく速く書くための行書「行書に調和する仮名」(2) →行書として「いろは歌」を扱っている。</p> <p>○コラム「物語を千年書き継ぐ」(2) →「源氏物語」の流布のされ方を扱っている。</p> <p>○季節のしおり2(2) →平安時代の古典作品である「枕草子」を扱っている。</p> <p>○書写ブック「読みやすく速く書くための行書」(1) →百人一首の和歌を扱っている。</p> <p>○書写ブック「名文を書いてみよう2」(2) →「いろは歌」や鎌倉時代の古典作品である「平家物語」を扱っている。</p> <p>第3学年</p> <p>○全国文字マップ(4) →全国各地に存在する歴史的建造物等の看板や石碑・見出しに使われている文字を扱っている。</p> <p>○季節のしおり3(2) →百人一首の和歌や俳句を扱っている。</p> <p>○書写ブック「名文を書いてみよう3」(2) →江戸時代の古典作品である「おくのほそ道」を扱っている。</p> <p>資料編等</p> <p>○発展「なりきり、書聖・王羲之」(1) →書聖と称される王羲之の作品を扱っている。(高等学校の学習内容)</p> <p>○表紙裏「書く道具が生まれる」(2)</p>
----	--

<p>光村</p>	<p>→「筆」,「紙」,「硯」,「墨」,「鉛筆」の作られる過程の一部が写真で紹介している。</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の総ページ数は27ページ。第1学年10, 第2学年9, 第3学年8である。 ・仮名の字源を示している。 ・「源氏物語」を例に挙げ,印刷機のなかった時代の文字の受け継がれ方を説明している。 ・「王羲之」の作品を取り上げ,高等学校の「芸術としての書道」の内容に触れている。 ・第3学年で「全国文字マップ」として,いろいろな書体でさまざまな文字が身近なところにあることを取り上げている。
-----------	--

【書写】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑥配色, レイアウト等表現・表記の工夫
方 法	○筆使いの示し方, 紙面構成, デジタルコンテンツの扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【筆使いの示し方】</p> <p>行書「点画の連続」「点画の変化」</p> <p>○「確かめよう」では, 筆脈を点線で示している。</p> <p>○朱墨で筆使いを示し, ポイントとなるところに, 「四つの動き」を示すアイコンで筆使いを示している。</p> <p>【紙面構成】</p> <p>○見開き2ページ</p> <p>・右ページに学習のポイントを示し, 左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。</p> <p>○「見つけよう」には, 楷書と行書を並べて示している。教材文字の下に書き込み欄を示している。</p> <p>【デジタルコンテンツの扱い】</p> <p>○「Dマーク」</p> <p>・目次にあるURLや該当箇所のQRコードからコンテンツにアクセスできる。</p> <p>・該当する目次と該当箇所には「Dマーク」を示している。</p> <p>・第1学年: 11教材 第2学年: 8教材 第3学年: 5教材 書写ブック: 4教材</p> <p>・行書の基本の点画「点画の書き方と字形の整え方」に始まり, 点画の変化「大空」など二文字作品の動画に音声がついていて, 筆圧, 穂先, 止め, 払いの長さ, 点の向きなどのポイントの案内がある。</p> <p>☆</p> <p>・筆使いの特徴を点線や矢印, アイコンなどで示したり, 解説を加えたりしている。</p> <p>・デジタルコンテンツは, 執筆する動画をポイントが分かるように編集するとともに, 音声によるポイント説明があり, 筆圧, 穂先, 止め, 払いの長さ, 点の向きなどのポイント説明がある。</p>
三省堂	<p>【筆使いの示し方】</p> <p>行書「点画の連続」「点画の形や方向の変化」</p> <p>○「書き方を学ぼう」では, 筆脈を青の矢印や点線で示し, 言葉で解説している。</p> <p>○行書の文字(朱墨)と楷書(黒字)の文字を並べて示している。</p> <p>【紙面構成】</p> <p>○見開き2ページ</p> <p>・右ページに学習のポイントを示し, 左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。</p> <p>○「書き方を学ぼう」では, 楷書と行書で書かれた文字を上下に示している。</p> <p>【デジタルコンテンツの扱い】</p> <p>○「二次元コード」</p> <p>・「基礎編」「学習のはじめに」にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。</p>

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の姿勢と構え方，大筆の持ち方，小筆の持ち方・構え方 筆の運び方，用具の扱い方，硬筆の姿勢と構え方，鉛筆の持ち方について掲載している。 <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆使いの特徴を点線や矢印などで示し，ポイントとなる部分について言葉による解説を加えている。 ・楷書と行書の筆使いの違いを確認できるよう，楷書と行書の文字を示す紙面になっている。 ・デジタルコンテンツは，書写を行う姿勢と構え方等の動画がある。執筆する動画はない。
教出	<p>【筆使いの示し方】 行書「点画の連続と変化1」「点画の連続と変化1」 ○「考えよう」では，筆順と筆脈を矢印や点線で示し，言葉で解説している。 ○朱墨で筆使いを示し，ポイントとなるところに，「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示している。</p> <p>【紙面構成】 ○見開き2ページ ・左ページに学習のポイントを示し，右ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ○「試し書き」では，楷書と手紙を確認し，その下に行書で書く欄がある。 ○半紙形の紙面には，青色の中心線を示している。</p> <p>【デジタルコンテンツの扱い】 ○「まなびリンク」 ・目次及び裏表紙にある URL と該当箇所の二次元コードから，コンテンツにアクセスできる。 ・該当する箇所には，「まなびリンク」マークを示している。 ・第1学年：8箇所 第2学年：6箇所 第3学年：4箇所 補助教材集：11教材</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆使いの特徴を点線や矢印などで「考えよう」で「考える」ポイントを示し，ポイントとなる部分を拡大して解説とともに示している。 ・デジタルコンテンツは，執筆する動画に音声はついていないが，目標を読み上げるだけで，ポイント説明はない。
光村	<p>【筆使いの示し方】 行書「点画の変化」 ○「②確かめよう」では，朱墨で筆使いを示し，ポイントとなるところに，写真と言葉で筆使いを示している。 ○半紙原寸大の教材文字の横に，朱墨と薄墨で筆使いを示している。</p> <p>【紙面構成】 ○4ページ ・見開き2ページで，学習の進め方を示している。 ・見開き2ページで，半紙原寸大の教材文字を示している。 ○「①考えよう」では，楷書と行書を左右に並べて示している。</p> <p>【デジタルコンテンツの扱い】 ○「二次元コード」</p>

光村	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「さあ、書こう」及び裏表紙に二次元コードの説明があり、コンテンツにアクセスできる。音声によるポイント説明等はない。 ・該当する箇所には、二次元コードを示している。 ・第1学年：15教材 第2学年：10教材 第3学年：7教材 補助教材：10箇所 <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆使いの特徴を点線などで示し、ポイントとなる部分に言葉による解説を加えている。 ・半紙原寸大の手本を扱っている教材には、手本の中にポイントとなる筆使いを合わせて示している。 ・毛筆教材に動画を紹介する二次元コードがありコンテンツにつながり、実際に書いている様子を示している。 ・デジタルコンテンツは、執筆する動画は実際に書き進むのみで、音声によるポイント説明はない。
----	--

【書写】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑦学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
方 法	○教科の学習や日常生活に生かす単元等, 教材及び教材の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第1学年</p> <p>【生活に広げよう】</p> <p>○案内の手紙を書こう</p> <p>○年賀状を書こう</p> <p>○職場訪問をしよう (依頼状・礼状・メモ・レポート・ポスター)</p> <p>【文字のいずみ】</p> <p>○書き初めをしよう (夢の実現・温故知新・美しい緑・早春)</p> <p>○書いて味わおう (『竹取物語』)</p> <p>○いろは歌</p> <p>○伝統的な用具・用材</p> <p>第2学年</p> <p>【生活に広げよう】</p> <p>○本のポップを書こう</p> <p>○防災訓練に参加しよう</p> <p>(メモ・会議録・ポスター・案内表示・看板・パンフレット)</p> <p>【文字のいずみ】</p> <p>○書き初めをしよう (感謝する心・信念を貫く・最善を尽くす・平和の祈り)</p> <p>○書いて味わおう (『平家物語』)</p> <p>○手書き文字と活字</p> <p>【楷書と行書の使い分け】</p> <p>○楷書と行書の使い分け (メモ・手紙・試験の申し込み書・ノート)</p> <p>○場面や目的に応じた書き方 (はがき・大会申し込み書・図書館利用カード・筆記具の違いによる文字の例)</p> <p>第3学年</p> <p>【生活に広げよう】</p> <p>○思いを文字で表そう</p> <p>【効果的に文字を書こう】</p> <p>○身のまわりの文字の目的と工夫</p> <p>○手書き文字の特徴 (はがき・メモ・感想カード・ポスター)</p> <p>○書き手の意図と表現 (体育祭の応援旗)</p> <p>○現代につながる文字の役割</p> <p>【文字のいずみ】</p> <p>○仕事の中の手書き文字</p> <p>○書き初めをしよう (希望に輝く春・生命を尊ぶ・不屈の精神・梅の花咲く里)</p> <p>○書いて味わおう (『おくのほそ道』)</p> <p>○古典をもとに</p> <p>【資料編】</p> <p>○二十四節気と季節の挨拶</p>

東書	<p>○書写活用ブック 手紙・新聞・ポスター・リーフレット・フリップ・レポート・原稿用紙 その他（願書・複写式用の紙・往復葉書・電子メール・一筆箋・熨斗袋）</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことが他教科等の学習や日常生活の中で生かせるように、目的の例や、国語や他教科等の学習と関連させた具体的な言語活動例と活動の手順を示している。（マークあり） ・「書写力アップ」というマークを付け、留意点を示している。 ・「生活に広げよう」・・・学習活動や生活に役立つ題材例を掲載している。 ・学習活動，職場訪問や地域行事など生徒に身近な活動を題材にした具体例を掲載している。 ・現代的な課題「防災・安全」「環境」「国際環境」などへの対応が取り上げられている。 ・「文字のいづみ」・・・文字文化に親しむコラムを掲載している。 ・「書写活用ブック」・・・全学年で扱えるあらゆる書式の例を掲載している。 ・伝統文化を楽しむ「書き初め」・・・手本例を説明するページと別に綴じ込みがある。
三省堂	<p>第1学年</p> <p>【書いて身につけよう】</p> <p>○仮名の字形／文字の大きさと配列（暑中見舞い）</p> <p>【やってみよう】</p> <p>○グループ新聞を作ろう</p> <p>○書き初め（日進月歩・輝く生命）</p> <p>第2学年</p> <p>【書いて身につけよう】</p> <p>○楷書と行書の使い分け（テスト・メモ・礼状）</p> <p>【やってみよう】</p> <p>○情報誌を作ろう</p> <p>○書き初め（燃ゆる思い・大望を抱く・温故知新・平和の鐘）</p> <p>【文字文化の豊かさ】</p> <p>○身の回りの文字</p> <p>第3学年</p> <p>【やってみよう】</p> <p>○名言集を作ろう</p> <p>○書き初め（旅立ちの時・山光澄我心）</p> <p>【文字文化の豊かさ】</p> <p>○身の回りの文字</p> <p>全学年</p> <p>【資料編】</p> <p>○日常の書式（便箋と封筒・はがきの書き方・時候の挨拶・頭語と結語・送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方）</p>

三省堂	<p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことが、他教科等の学習や日常生活の中で生かせるように、国語や他教科等の学習と関連させた言語活動例と留意点を示している。 ・「やってみよう」・・・様々な学習活動や生活に役立つ題材例を掲載している。 ・「書いて身に付けよう」・・・毛筆で学んだことを普通の文字に生かすための紙面がある。 ・「文字文化にふれる」・・・日常生活の中にある文字文化の例を示している。 ・『竹取物語』『枕草子』など古文を国語で読み、書写で書く項目がある。 ・グループ新聞・情報誌・名言集・詩など、国語で内容を学習し、書写で書く取り組みがある。 ・伝統文化を楽しむ「書き初め」・・・手本例の綴じ込みがある。 ・「日常の書式」・・・全学年で扱えるあらゆる書式の例を掲載している。
教出	<p>第1 学年</p> <p>【学習活動に生かす】</p> <p>○学習内容を効果的にノートに書こう</p> <p>【楷書と仮名の調和】</p> <p>○楷書で書こう—配列—（校庭の植物観察をレポートにまとめる）</p> <p>○楷書（手紙を書く）</p> <p>【コラム】</p> <p>○季節の行事と書写</p> <p>○暮らしの文字を支える人々</p> <p>【学習活動や日常生活に生かす】</p> <p>○楷書（お薦めの本の帯やポップを作る）</p> <p>○楷書（ポスターを書く「ポスターセッション用」）</p> <p>○書き初め（新たな決意・世界遺産）</p> <p>第2 学年</p> <p>【行書と仮名の調和】</p> <p>○行書—文字の大きさと配列（色紙・短冊）</p> <p>【コラム】</p> <p>○短冊と色紙</p> <p>○暮らしの文字を支える人々</p> <p>【学習活動や日常生活に生かす】</p> <p>○さまざまな書く場面（ノート・メモ・立て看板・黒板・掲示物・手紙）</p> <p>○新聞を書く・掲示物に案内を書く・案内状を書く</p> <p>○書き初め（生命の尊重・伝統の継承）</p> <p>第3 学年</p> <p>【行書と仮名の調和】</p> <p>○学習を生かして書く—配列—「俳句」</p> <p>【身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう】</p> <p>○多様な表現による文字（ノート・標識・案内板・包み紙・書籍の題字・記念碑展示室・風・橋銘・看板・取材レポート・城跡の碑）</p> <p>○三年間の学習の成果を生かそう（メッセージカード・未来の自分への手紙）</p> <p>【日常生活に生かす】</p>

教出	<p>○書き初め（友好の精神・真理の探究）</p> <p>【資料編】</p> <p>○書式の教室 （手紙・年賀状・はがき・エアメール・包み紙・原稿用紙・伝票・願書 志望理由書）</p> <p>○情報を整理する （課題設定・解決法の計画・情報の比較・事柄の推論・材料の整理（案内文））</p> <p>○書き初め・色紙・短冊</p> <p>☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことが、他教科等の学習や日常生活の中で生かせるように、国語や他教科等の学習と関連させた言語活動例と活動の手順を示している。 ・「学習活動や日常生活に生かす」・・・学習活動や生活に役立つ題材例を掲載している。 ・様々な場面を紹介したあと、新聞・筆記具の例・ポスター・案内状の書き方を掲載している。 ・「身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう」・・・身のまわりで見かける文字の表現効果について考えることが提案されている。 ・「多様な表現による文字」・・・例を紹介したあと、三年間の学習を生かして効果的に書く例、メッセージカード、未来の自分への手紙の書き方を掲載している。 ・伝統文化を楽しむ「書き初め」・・・手本例の綴じ込みがある。 ・「書式の教室」・・・全学年で扱えるあらゆる書式の例を掲載している。 ・「情報を整理する」・・・情報を集める方法の書き方を掲載している。
光村	<p>第1学年</p> <p>【学校生活】</p> <p>○学級スローガン・目標を書こう</p> <p>【学習生活に生かす】</p> <p>○季節のしおり（俳句・短歌）</p> <p>【日常生活に生かす】</p> <p>○書き初め（不言実行・文武両道・将来の夢）</p> <p>第2学年</p> <p>【学校生活】</p> <p>○行書の活用（本の帯・立て看板・ノート・応援旗・メモ・一筆箋）</p> <p>【学習生活に生かす】</p> <p>○壁新聞を作ろう</p> <p>○季節のしおり2（枕草子）</p> <p>【やってみよう】</p> <p>○デザインと文字を考えよう</p> <p>【楷書と行書】</p> <p>○文字の使い分け（メモ・願書）</p> <p>【コラム】</p> <p>○物語を千年書き継ぐ</p> <p>【日常生活に生かす】</p>

光村	<p>○書き初め（新たな目標・大志を抱く）</p> <p>第3学年</p> <p>【楷書と行書】</p> <p>○文字の使い分け（新聞・パンフレット・看板）</p> <p>【身のまわりの文字】</p> <p>○全国文字マップ</p> <p>【コラム】</p> <p>○UD書体って何だろう</p> <p>【日常生活に生かす】</p> <p>○私の好きな言葉</p> <p>○冊子にまとめよう</p> <p>【学習生活に生かす】</p> <p>○季節のしおり3（詩・短歌・俳句）</p> <p>【資料編】</p> <p>○日常に役立つ書式 （手紙の縦書き・手紙の横書き・はがき・願書・送り状・原稿用紙）</p> <p>○年賀状を書こう</p> <p>☆学習したことが、学校生活の中で生かせるように、主に国語と関連させた言語活動例と留意点を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活」・・・目標を書こう「国語」壁新聞・冊子「日常生活」年賀状を通して学習活動・生活に生かせる書式例が掲載されている。 ・伝統文化を楽しむ「書き初め」・・・手本例の綴じ込みがある。 ・「日常に役立つ書式」・・・全学年で扱えるあらゆる書式の例が掲載されている。 ・「中学生の漢字字典」・・・常用漢字、人名漢字、カタカナ、数字、アルファベットの書き方が掲載されている。
----	--